

## I 調査の概要

### 1. 調査の目的

本調査は、「第3次男女共同参画プラン・ふくつ」（仮称）の策定にあたり、市民を対象として男女共同参画社会に関する意識と実態を把握し、計画策定の基礎資料とすることを目的として実施した。

### 2. 調査項目（別紙調査票参照）

- (1) 福津市での暮らしについて
- (2) 男女共同参画について
- (3) あなたご自身のことやご家族のことについて

### 3. 調査の性格

- (1) 調査地域 福津市全域
- (2) 調査対象者 2,000人（18歳以上65歳未満の男女）
- (3) 回収率 有効回答数 427人  
有効回収率 21.4%
- (4) 抽出方法 住民基本台帳から無作為抽出
- (5) 調査方法 ウェブ回答（郵送法にも対応）
- (6) 調査期間 令和7年10月3日～令和7年10月20日
- (7) 調査企画 福津市 市民生活部男女共同参画推進室
- (8) 調査実施機関 福津市 市民生活部男女共同参画推進室
- (9) 調査結果の分析 福津市 市民生活部男女共同参画推進室  
(助言・監修) 九州産業大学 地域共創学部 山下 永子教授

#### 4. 調査結果利用上の注意

- 図表中の「N」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表している。
- 回答の割合を示す数値は、小数第2位で四捨五入しているため、単数回答結果の合計が必ずしも100.0%に一致しない場合がある。
- 複数回答を求めた設問では、集計対象者総数に対する割合を示しており、合計が100.0%を超える場合がある。
- 文中の選択肢の表記は「 」で行い、選択肢のうち、2つ以上のものを合計して表す場合は『 』とした。

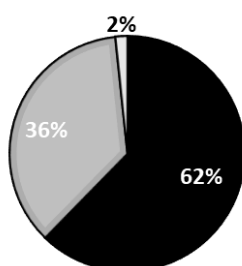
#### 5. 回答者の属性（全体 427人）

##### (1) 性別

・女性：266人 男性：154人 答えたくない・選べない：7人

※「答えたくない・選べない」は、以下「無選・無答」と称す。

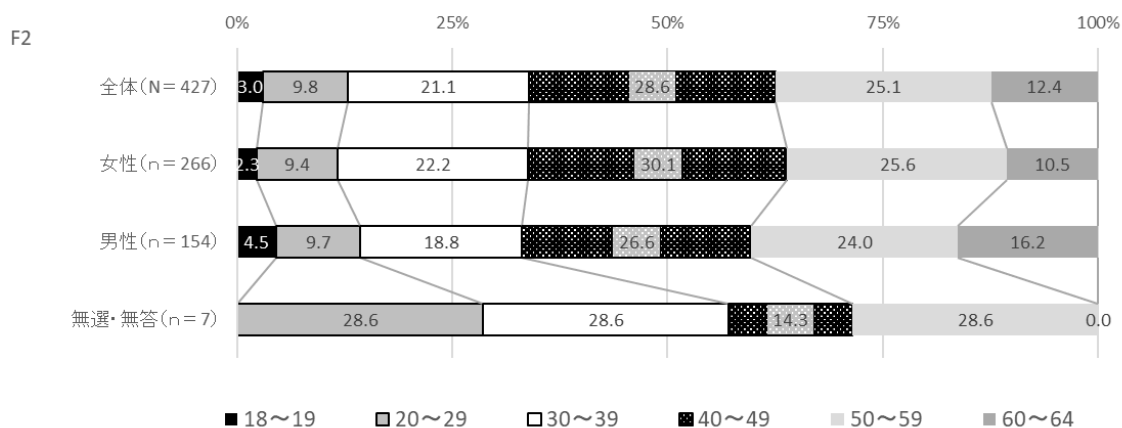
図表1 性別



##### (2) 年代

図表2 性年代別分布

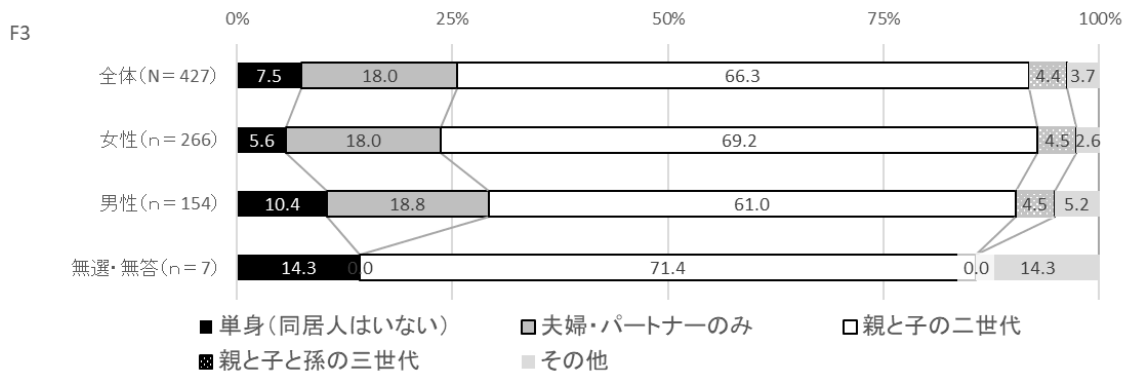
歳		18~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~64
全体	427	13	42	90	122	107	53
性別	女性	6	25	59	80	68	28
	男性	7	15	29	41	37	25
	無選・無答	0	2	2	1	2	0



(3) 世帯状況

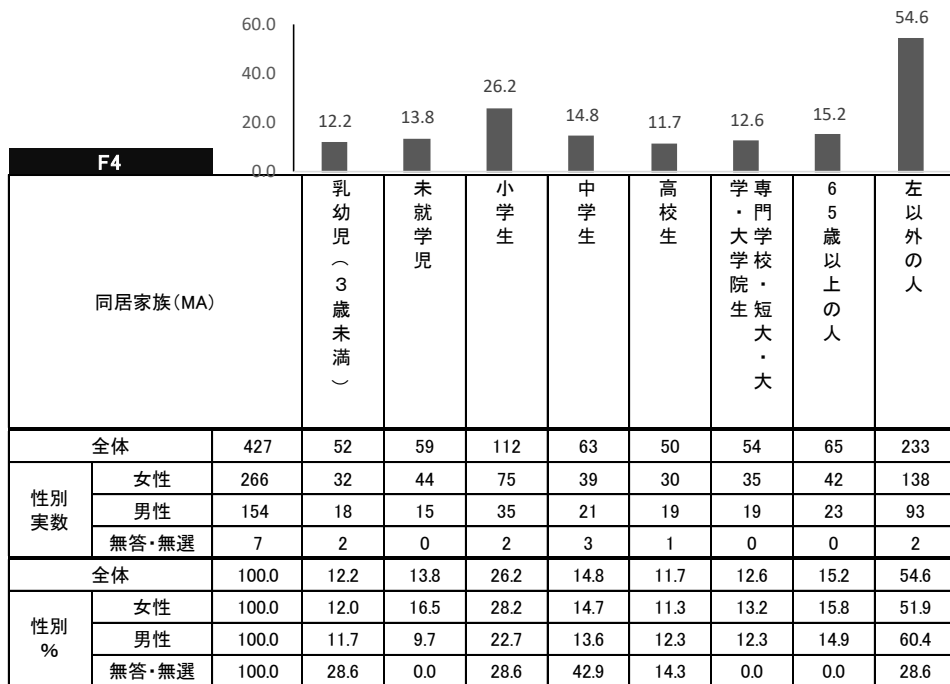
図表3 性年代別世帯状況

選択肢		単身（同居人はいない）	夫婦・パートナーのみ	親と子の二世帯	親と子と孫の三世帯	その他
全体		427	32	77	283	19
性別	女性	266	15	48	184	12
	男性	154	16	29	94	7
	無選・無答	7	1	0	5	0



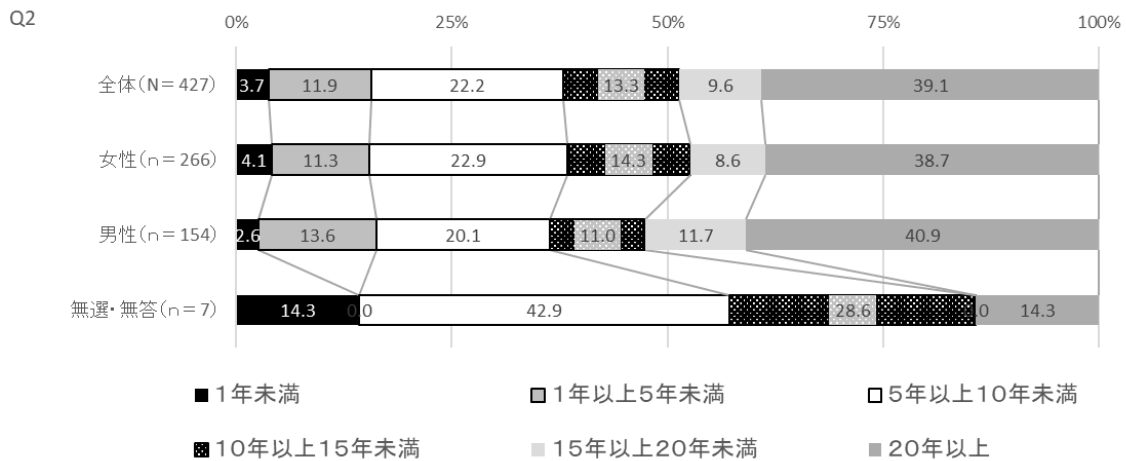
(4) 同居家族

図表4 同居家族



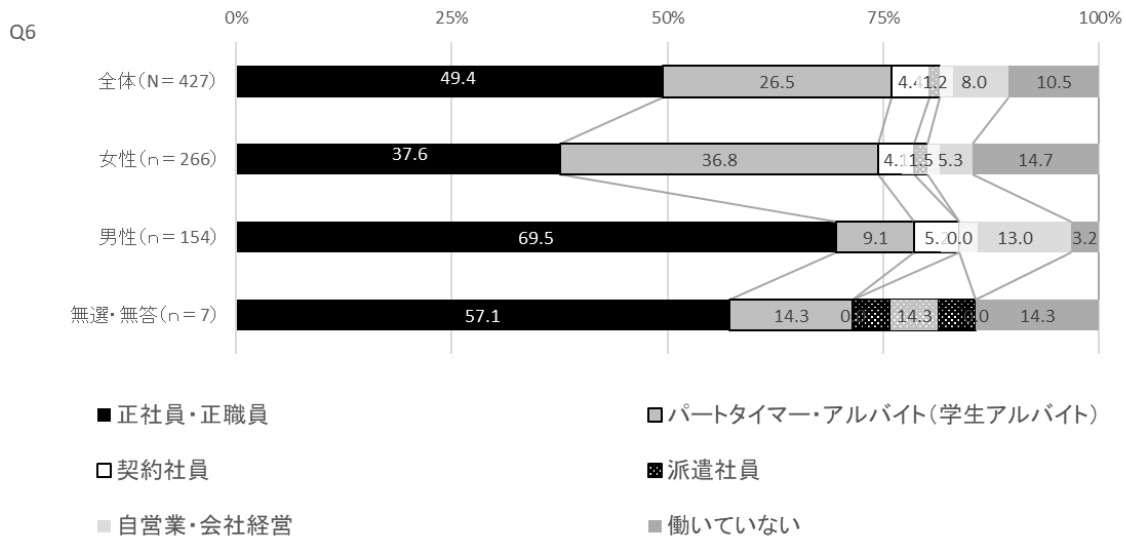
## (5) 居住年数

図表 5 居住年数



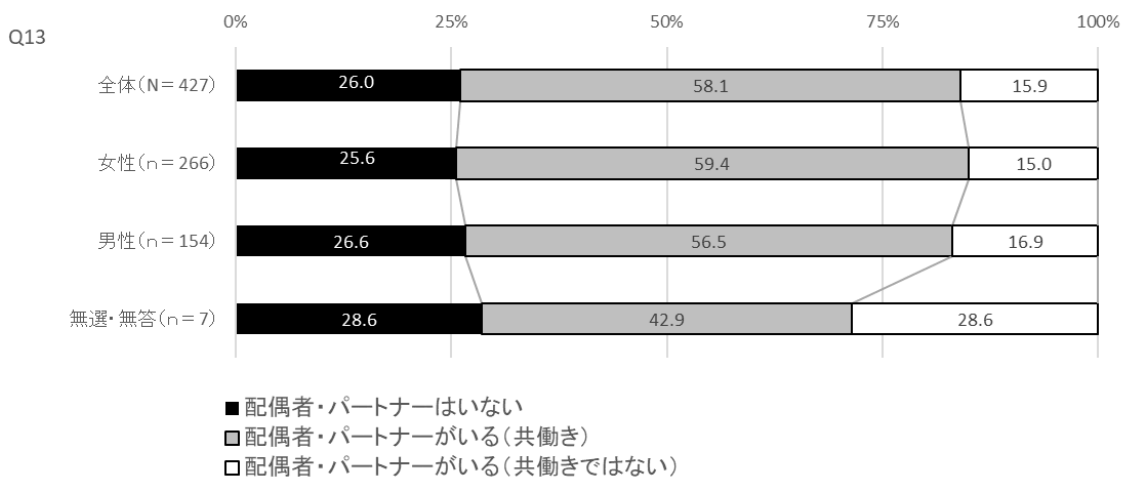
## (6) 職業状況

図表 6 職業状況



## (7) 配偶者・パートナーの有無

図表 7 配偶者・パートナーの有無



## Ⅱ 調査結果の分析

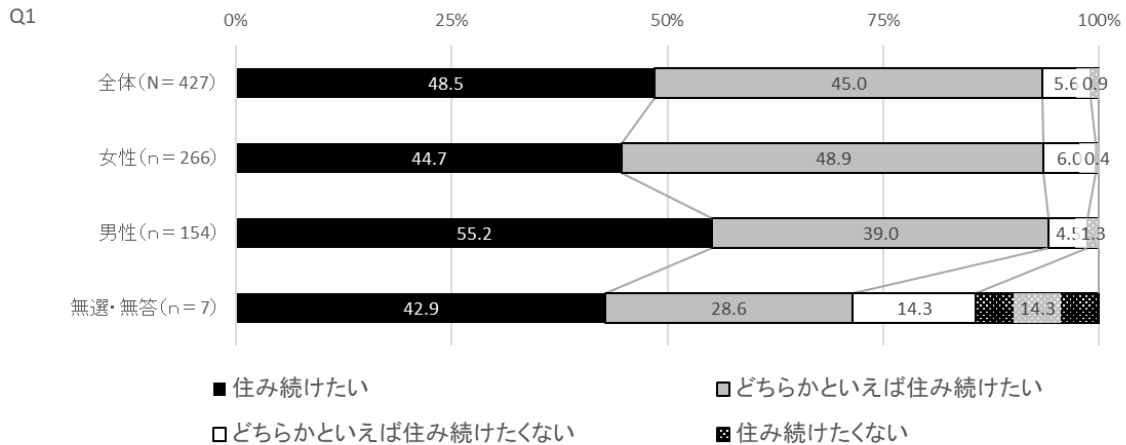
### 福津市での暮らしについておたずねします。

#### 1. 居住継続意向

あなたは、福津市に住み続けたいと思いますか（1つだけ）。

- ・全体では『住み続けたい（住み続けたい+どちらかといえば住み続けたい）』は93.5%。
- ・性別でみると「住み続けたい」は、男性が女性を10.5ポイント上回っている。

図表8 居住継続意向

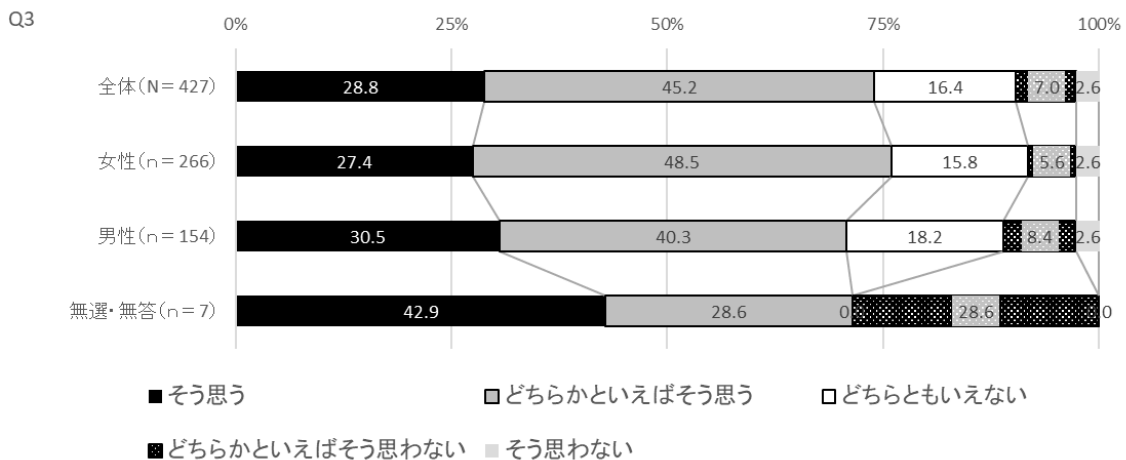


#### 2. 自分らしい生活

あなたは現在、自分らしく生活できていると思いますか（1つだけ）。

- ・全体では『そう思う（そう思う+どちらかといえばそう思う）』は74.0%。
- ・性別での差はとくにみられない

図表9 自分らしい生活



## 男女共同参画社会についておたずねします。

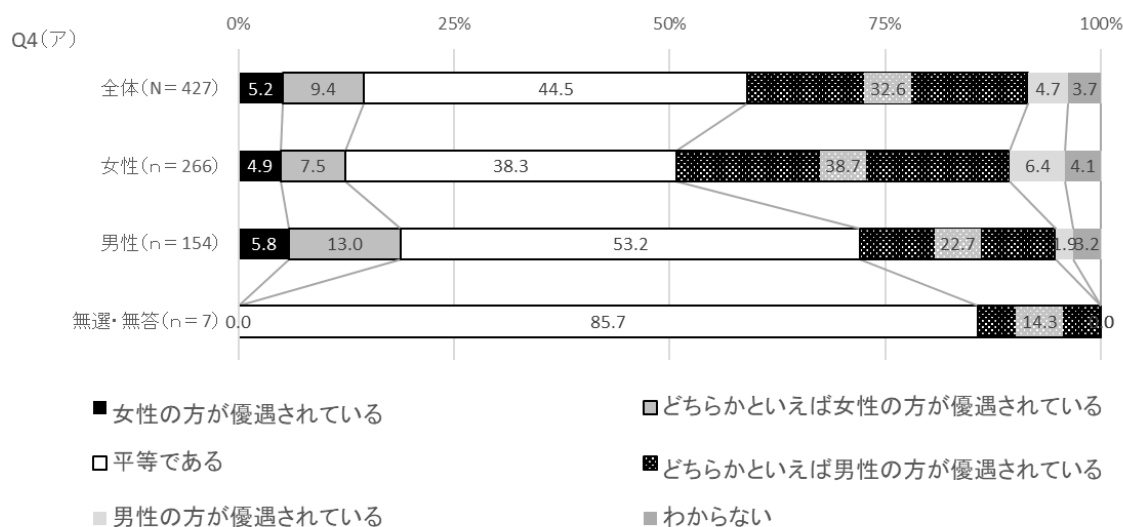
### 3. 分野別、男女の地域平等に対する考え

あなたは、次にあげるような分野で、男女の地位は平等になっていると思いますか（1つだけ）。

#### （ア）家庭生活

- ・全体では「平等である」が最も多く 44.5%、ついで「どちらかといえば男性の方が優遇」が 32.6%。
- ・性別で見ると、男性は「平等である」が 53.2%と、女性を 14.9 ポイント上回る。

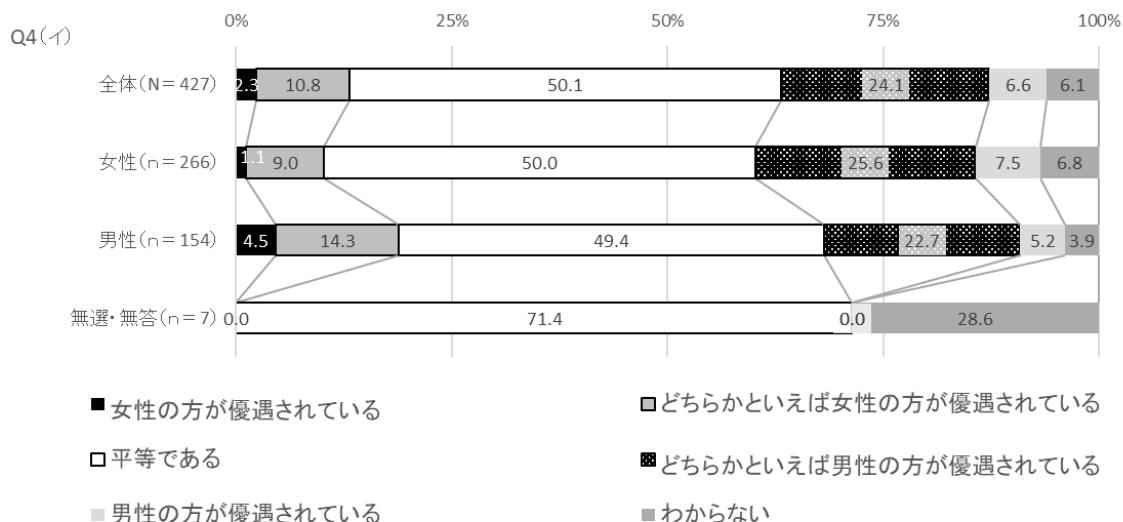
図表 10 家庭生活での平等



#### （イ）職場

- ・全体では「平等である」が最も多く 50.1%、ついで「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が 24.1%。
- ・性別で見ると、男性に『女性の方が優遇（女性の方が優遇されている+どちらかといえば女性の方が優遇されている）』と考える人が多い傾向がある。

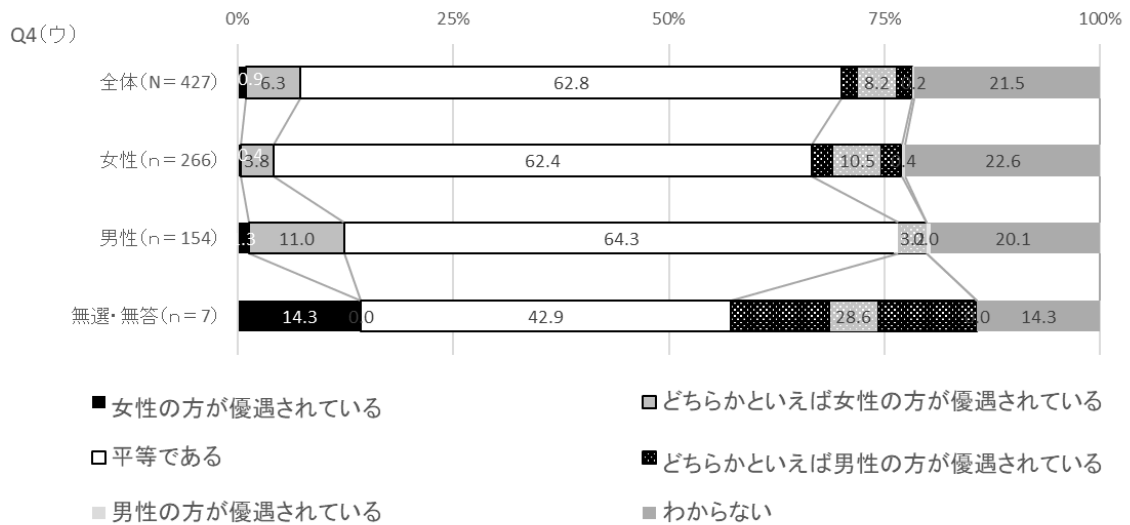
図表 11 職場での平等



(ウ) 学校教育の場

- ・全体では「平等である」が最も多く 62.8%。

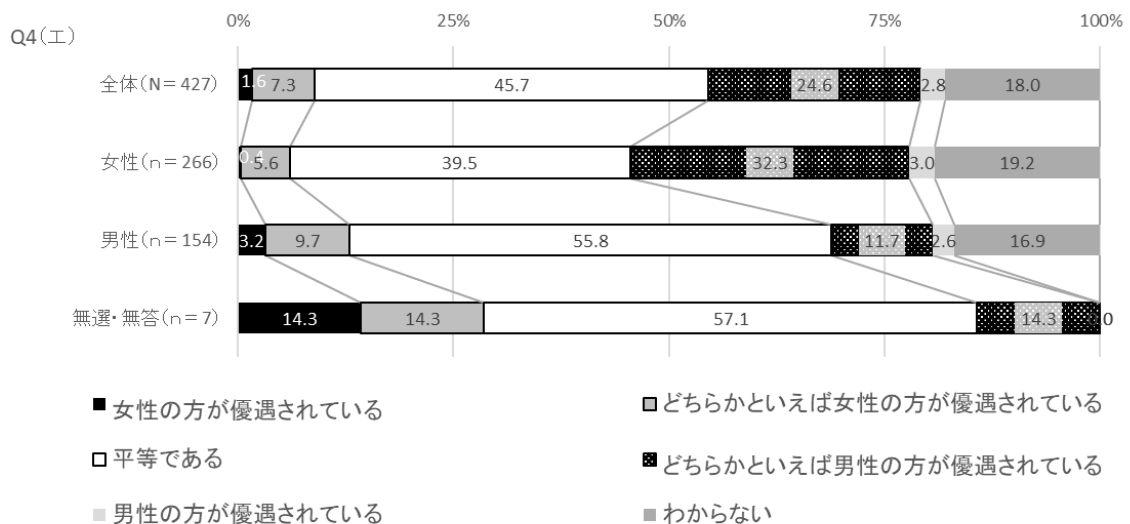
図表 12 学校教育の場での平等



(エ) 地域（郷づくり）活動・社会活動の場

- ・全体では「平等である」が最も多く 45.7%、ついで「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が 24.6%。
- ・性別でみると、男性は「平等である」が 55.8%と、女性を 16.3 ポイント上回る。

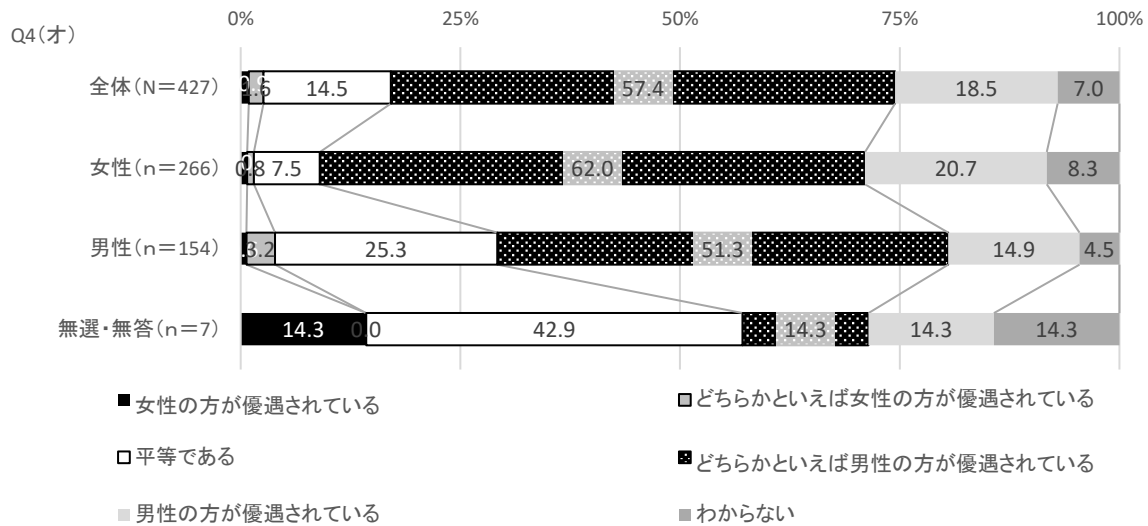
図表 13 地域（郷づくり）活動・社会活動の場での平等



(オ) 政治の場では

- ・全体では「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が最も多く 57.4%、ついで「男性の方が優遇されている」が 18.5%。
- ・性別でみると、男性は「平等である」が 25.3%と、女性を 17.8 ポイント上回る。

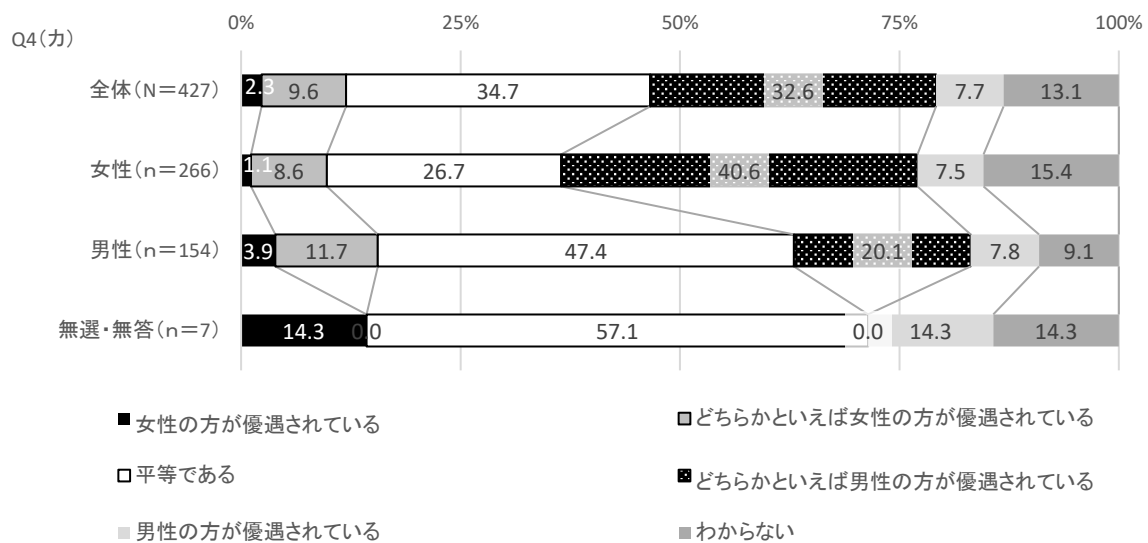
図表 14 政治の場での平等



(カ) 法律や制度の上では

- ・全体では「平等である」が 34.7%、ついで「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が 32.6%。
- ・性別でみると、男性は「平等である」が 47.4%と、女性を 20.7 ポイント上回る。

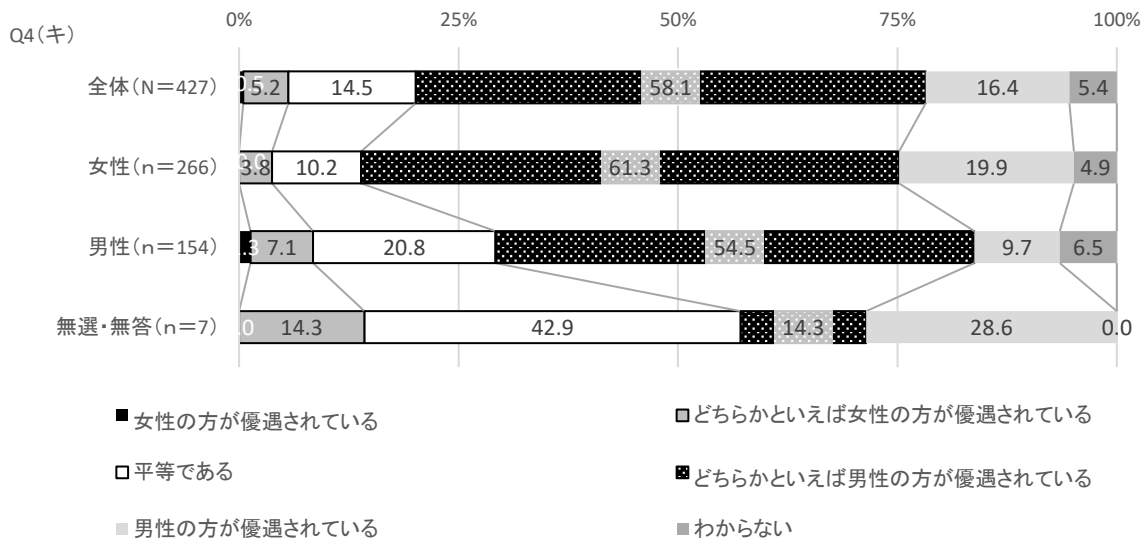
図表 15 法律や制度での平等



(キ) 社会通念・慣習・しきたりなどでは

- ・全体では「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が最も多く 58.1%。
- ・性別で見ると、男性は「平等である」が 20.8%と、女性を 10.6 ポイント上回る。

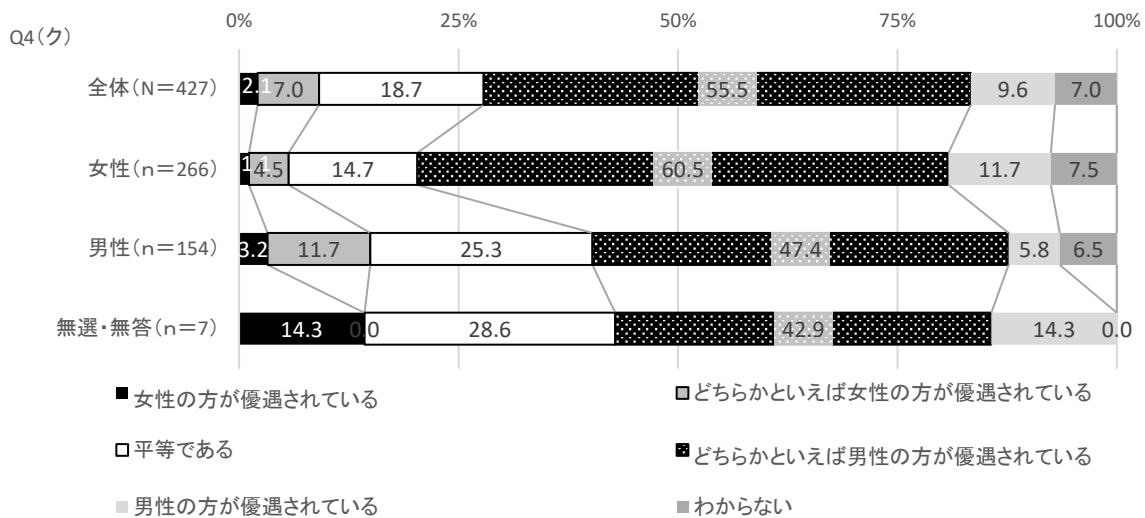
図表 16 社会通念・慣習・しきたりでの平等



(ク) 社会全体で見ると

- ・全体では「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が最も多く 55.5%。
- ・性別で見ると、男性は「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が 47.4%と、女性を 13.1 ポイント下回る。

図表 17 社会全体での平等

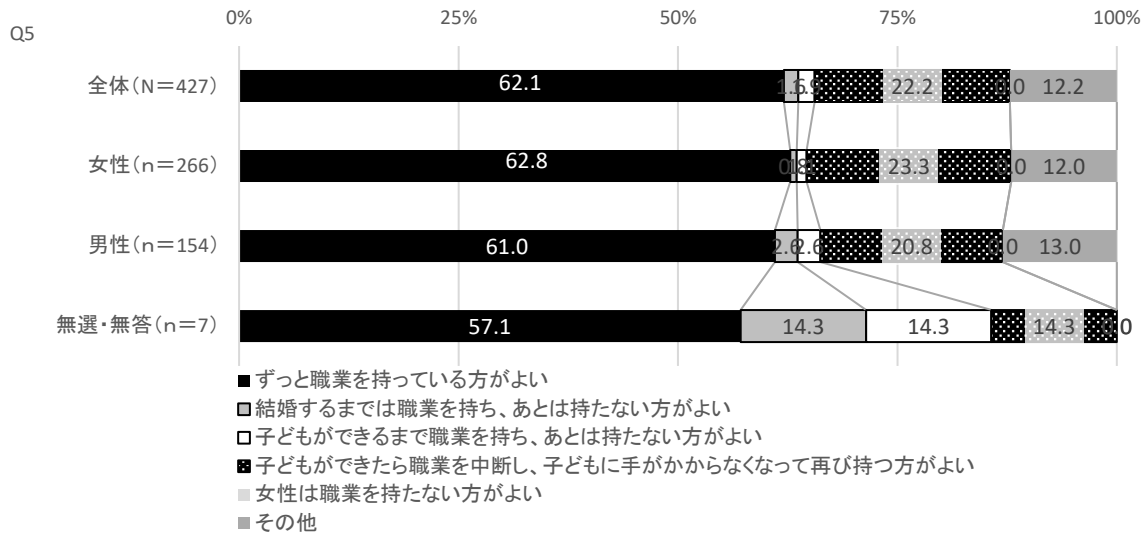


#### 4.女性が職業を持つことについての考え

一般的に「女性が職業を持つ」ことについて、あなたはどうお考えですか（1つだけ）。

- ・全体では「ずっと職業を持っている方がよい」が最も多く62.1%。

図表 18 女性が職業を持つことについての考え

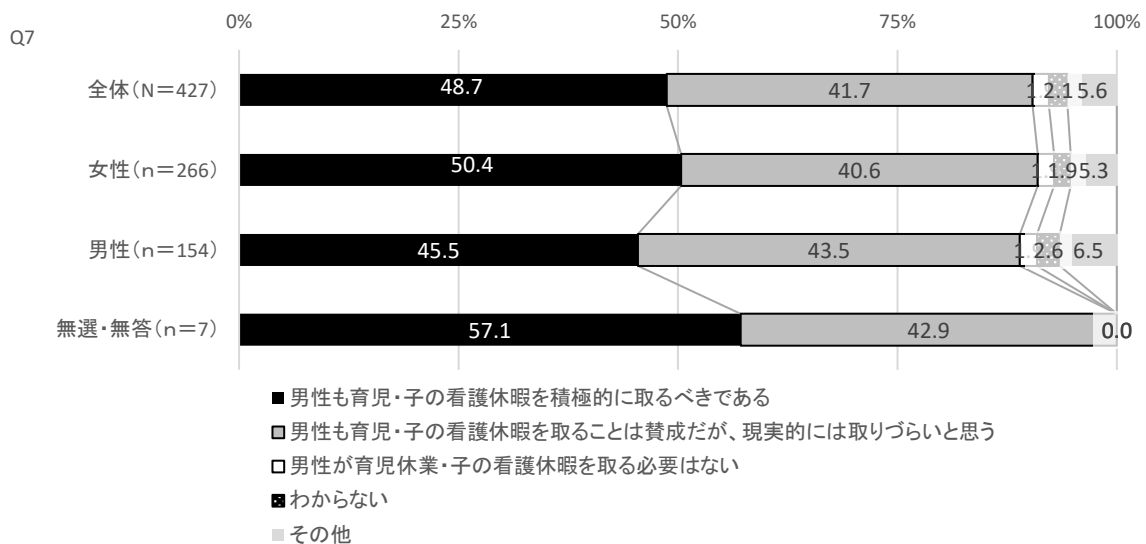


#### 5.男性が育児休業・子の看護休暇を取得することについての考え

育児を行うために、法律に基づき育児休業・子の看護休暇を取得できる制度があります。あなたは、男性が、この制度を活用することについてどう思いますか（1つだけ）。

- ・全体では「男性も育児・子の看護休暇を積極的に取るべきである」が48.7%、ついで「男性も育児・子の看護休暇を取ることは賛成だが、現実的には取りづらいと思う」が41.7%。

図表 19 男性が育児休業・子の看護休暇を取得することについての考え



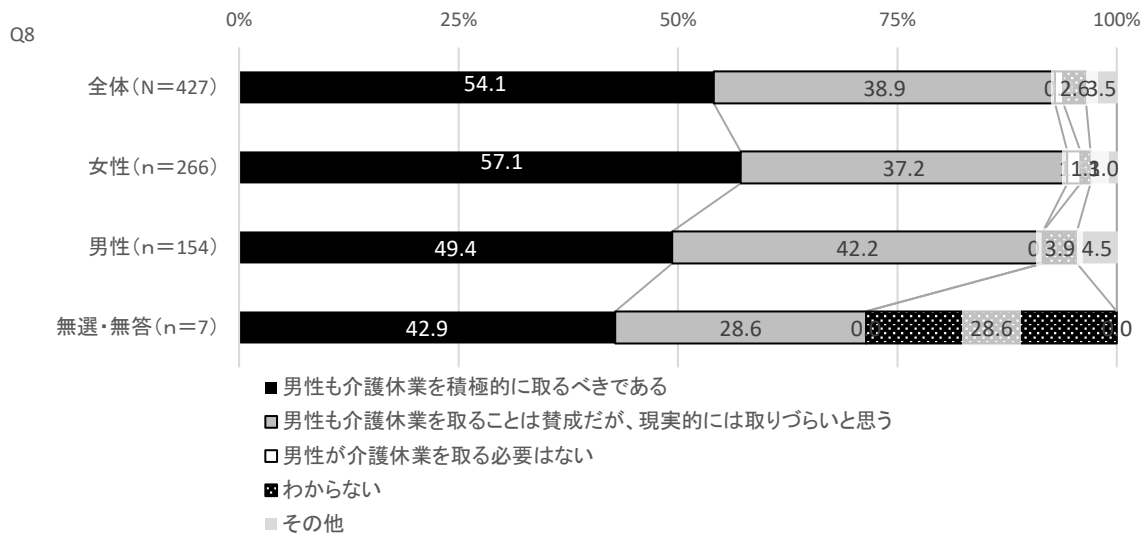
## 6. 男性が介護休業を取得することについての考え

家族の介護を行うために、法律に基づき介護休業を取得できる制度があります。

あなたは、男性が、この制度を活用することについてどう思いますか（1つだけ）。

- ・全体では「男性も介護休業を積極的に取るべきである」が54.1%、ついて「男性も介護休業を取ることは賛成だが、現実的には取りづらいと思う」が38.9%。

図表 20 男性が介護休業を取得することについての考え

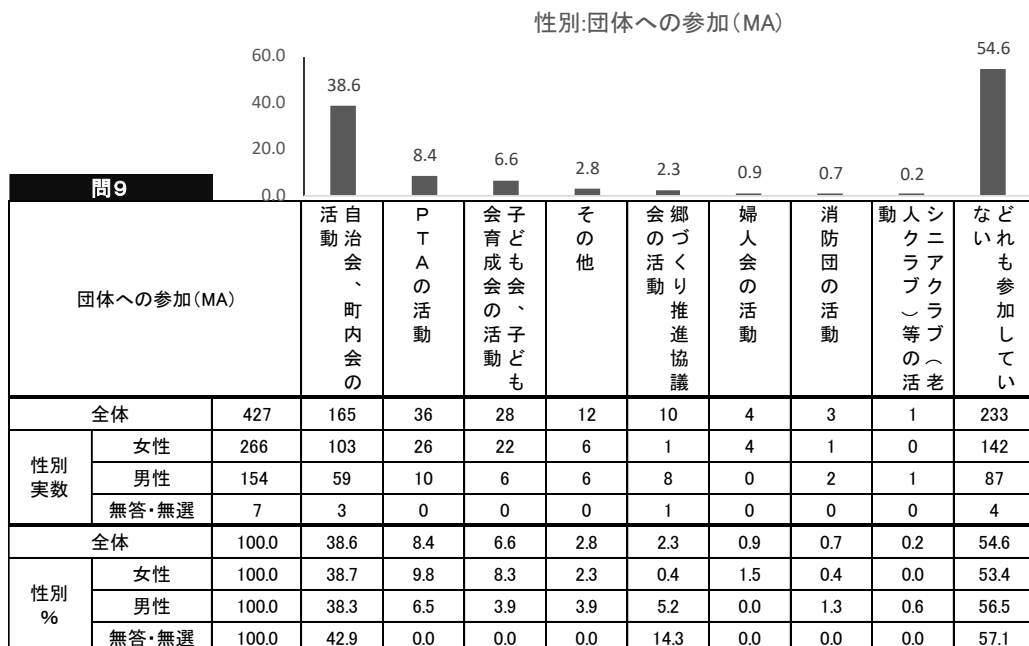


## 7. 団体活動への参加状況

あなたは、現在、次にあげる団体が行う活動に参加していますか（あてはまるものすべて）。

- ・全体では「どれも参加していない」が最も多く54.6%。
- ・参加している活動の中では「自治会、町内会の活動」が最も多く38.6%。
- ・性別で見ると、子ども関係の活動は女性の方が、やや多い傾向がみられる。

図表 21 団体活動への参加状況

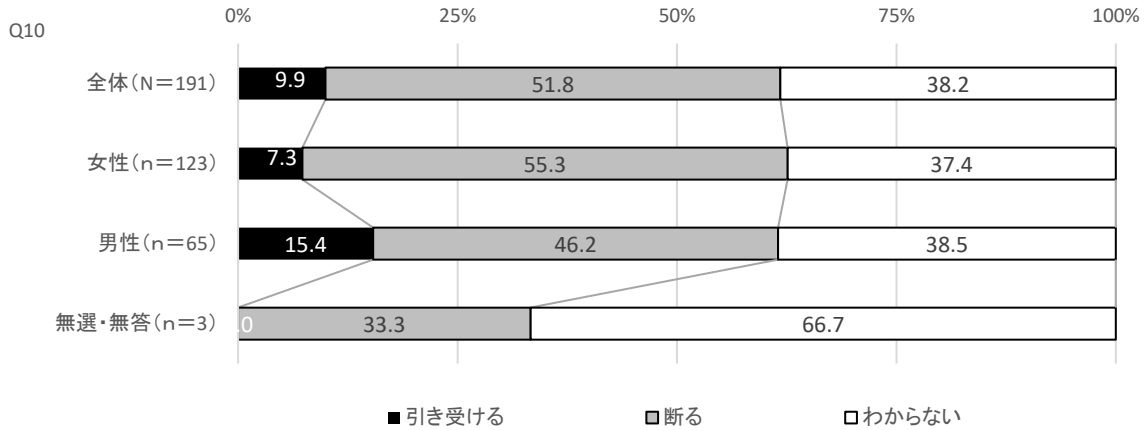


### 8.活動団体に役職トップに就くことへの考え（団体活動参加者のみ）

現在参加している、あるいは今後参加する団体において、あなたが役職のトップに就くことを推薦されたり、指名されたりした場合、あなたは引き受けますか（1つだけ）。

- ・全体では「断る」が最も多く51.8%。

図表 22 活動団体に役職トップに就くことへの考え

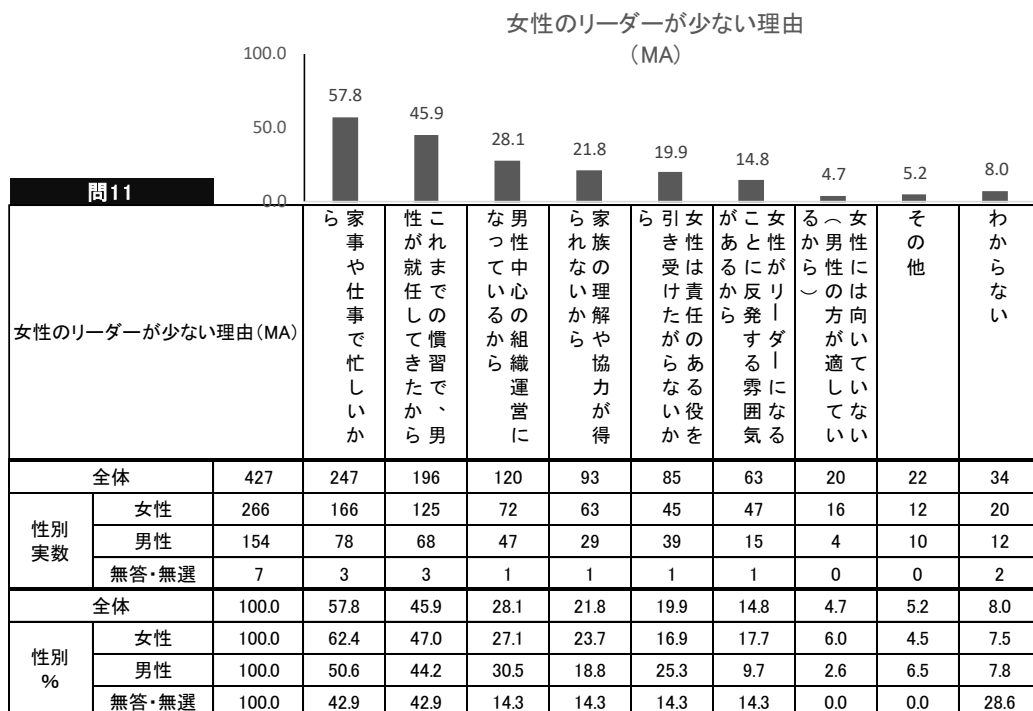


### 9.地域における活動に女性のリーダーが少ない理由

現在福津市では、自治会長、PTA会長などへの女性の就任状況は1割未満となっています。あなたは、地域における活動に女性のリーダーが少ない理由は何だと思いますか（あてはまるものをすべて）。

- ・全体では「家事や仕事で忙しいから」が最も多く57.8%。
- ・性別で見ると、女性は「家事や仕事で忙しいから」が62.4%と、男性を11.8ポイント上回る。

図表 23 地域における活動に女性のリーダーが少ない理由



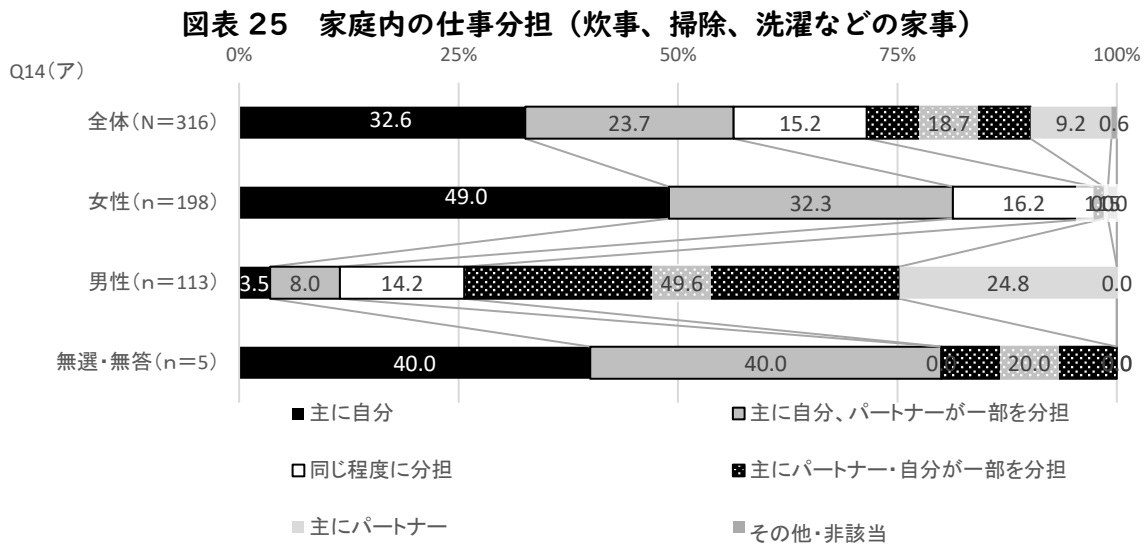


## 11. 家庭内の仕事分担（配偶者・パートナーがいる方のみ）

あなたのご家庭では、次にあげるような家庭内の仕事を、主にどなたがしていますか（1つだけ）。

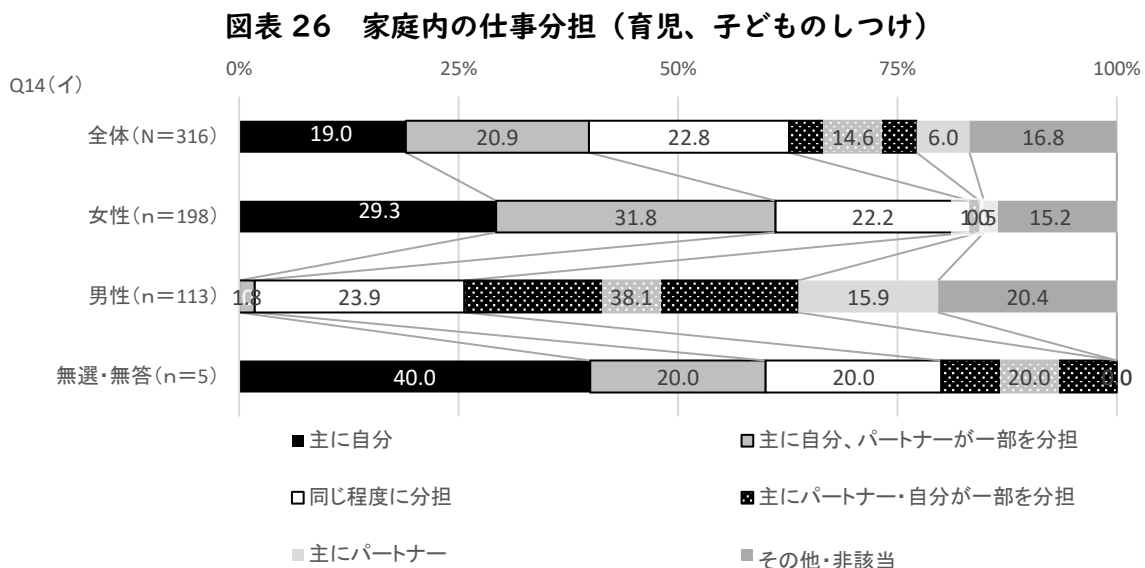
### （ア）炊事、掃除、洗濯などの家事

- ・全体では『主に自分（主に自分+主に自分、パートナーが一部を分担）』は56.3%。
- ・性別でみると、特に女性は『主に自分（主に自分+主に自分、パートナーが一部を分担）』が81.3%と、男性を69.8ポイント上回る。



### （イ）育児、子どものしつけ

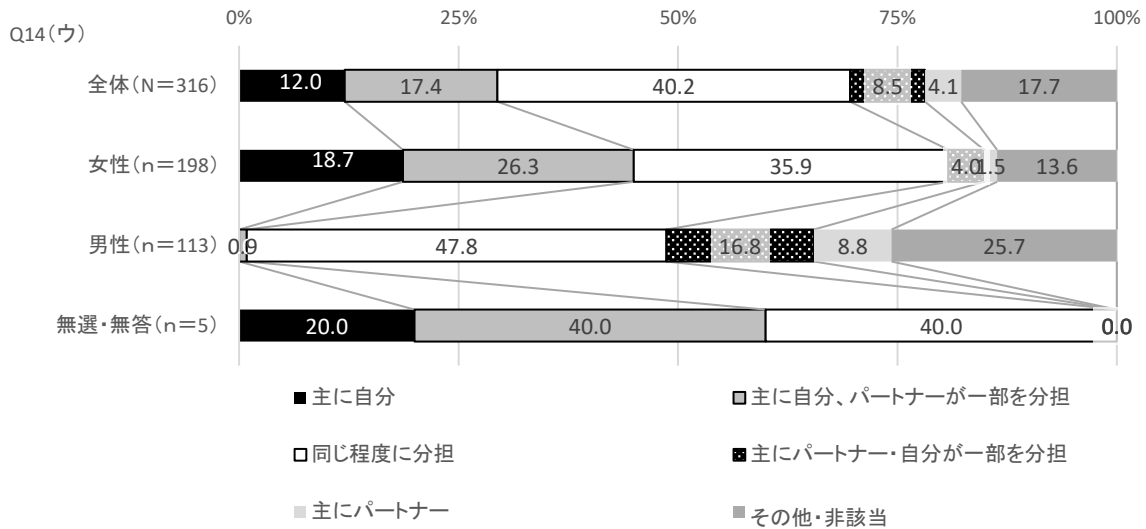
- ・全体では「同じ程度に分担」が最も多く22.8%、ついで「主に自分、パートナーが一部を分担」が20.9%。
- ・性別でみると、特に女性は『主に自分（主に自分+主に自分、パートナーが一部を分担）』が61.1%と、男性を59.3ポイント上回る。



(ウ) 子どもの教育方針や進学目標の決定

- ・全体では「同じ程度に分担」が最も多く 40.2%。
- ・性別で見ると、特に女性は『主に自分（主に自分+主に自分、パートナーが一部を分担）』が 45.0%と、男性を 44.1 ポイント上回る。

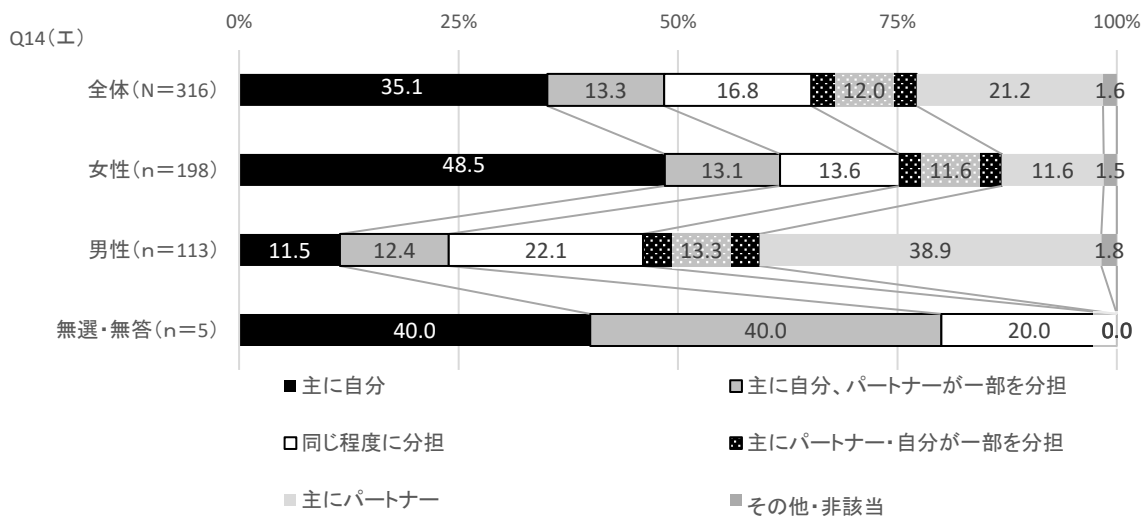
図表 27 家庭内の仕事分担（子どもの教育方針や進学目標の決定）



(エ) 日々の家計の管理

- ・全体では「主に自分」が 35.1%、ついで「同じ程度に分担」が最も多く 16.8%。
- ・性別で見ると、特に女性は『主に自分（主に自分+主に自分、パートナーが一部を分担）』が 61.6%と、男性を 37.7 ポイント上回る。

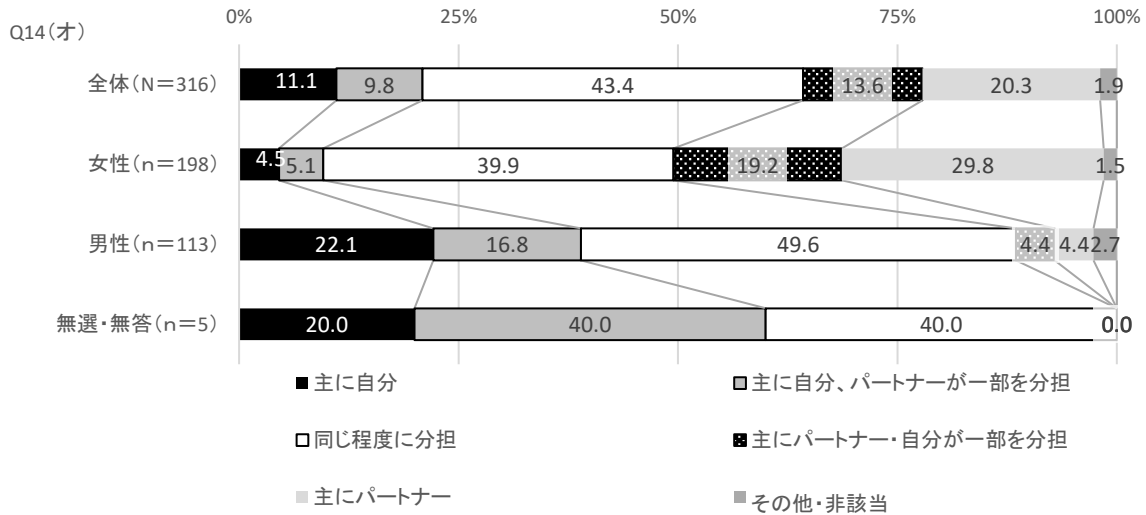
図表 28 家庭内の仕事分担（日々の家計の管理）



(オ) 高額商品や土地・家屋の購入の決定

- ・全体では「同じ程度に分担」が最も多く 43.4%。
- ・性別で見ると、男性は『主に自分（主に自分+主に自分、パートナーが一部を分担）』が 38.9% と、女性を 29.3 ポイント上回る。

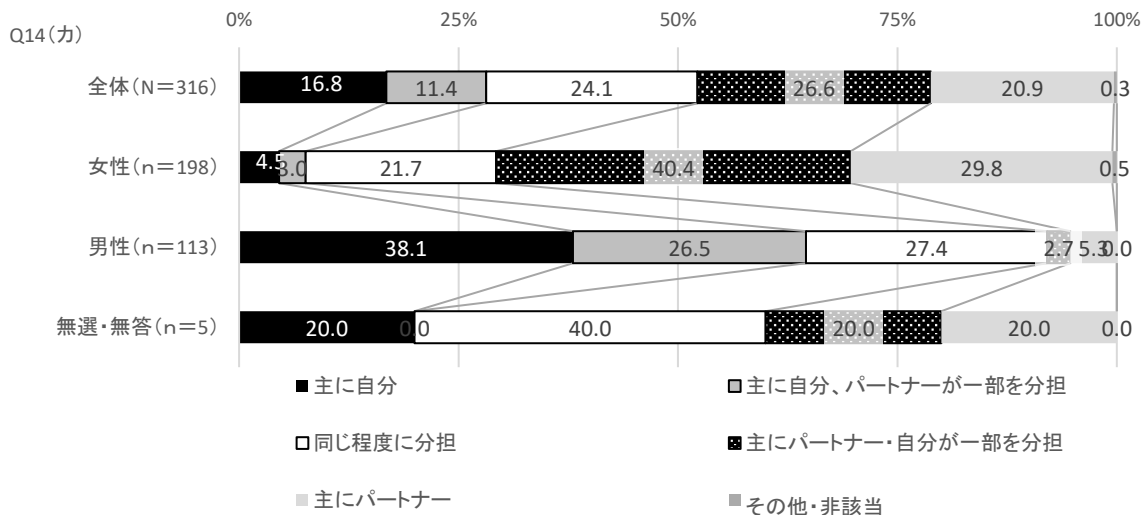
図表 29 家庭内の仕事分担（高額商品や土地・家屋の購入の決定）



(カ) 家計を支える（生活費を得る）

- ・全体では「主にパートナー・自分が一部を分担」が最も多く 26.6%、ついで「同じ程度に分担」が 24.1%。
- ・性別で見ると、男性は『主に自分（主に自分+主に自分、パートナーが一部を分担）』が 64.6% と、女性を 57.1 ポイント上回る。

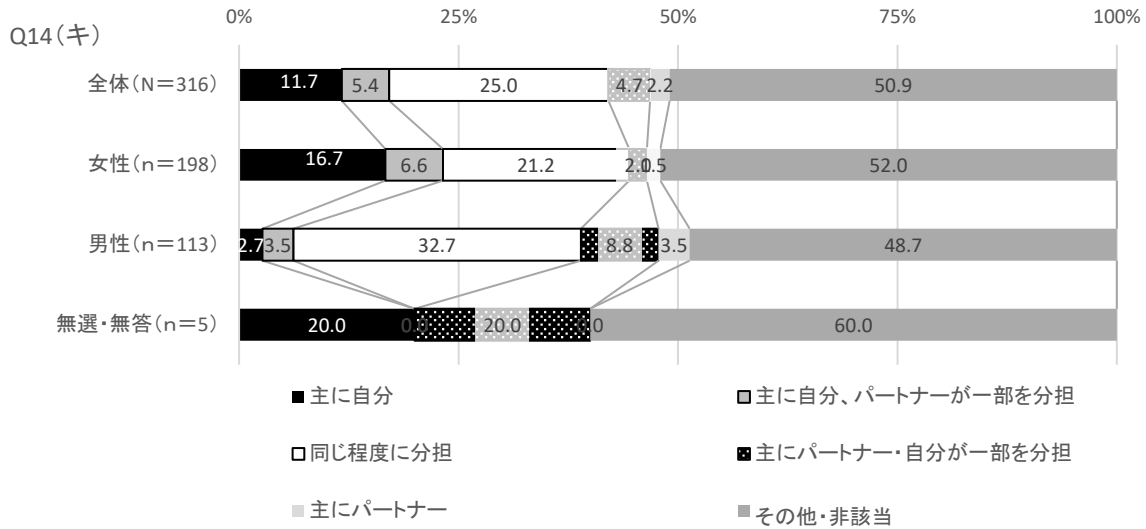
図表 30 家庭内の仕事分担（家計を支える）



### (キ) 親の世話（介護）

- ・全体では「その他・非該当」が最も多く 50.9%。
- ・性別で見ると、女性は『主に自分（主に自分+主に自分、パートナーが一部を分担）』が 23.3% と、男性を 17.1 ポイント上回る。

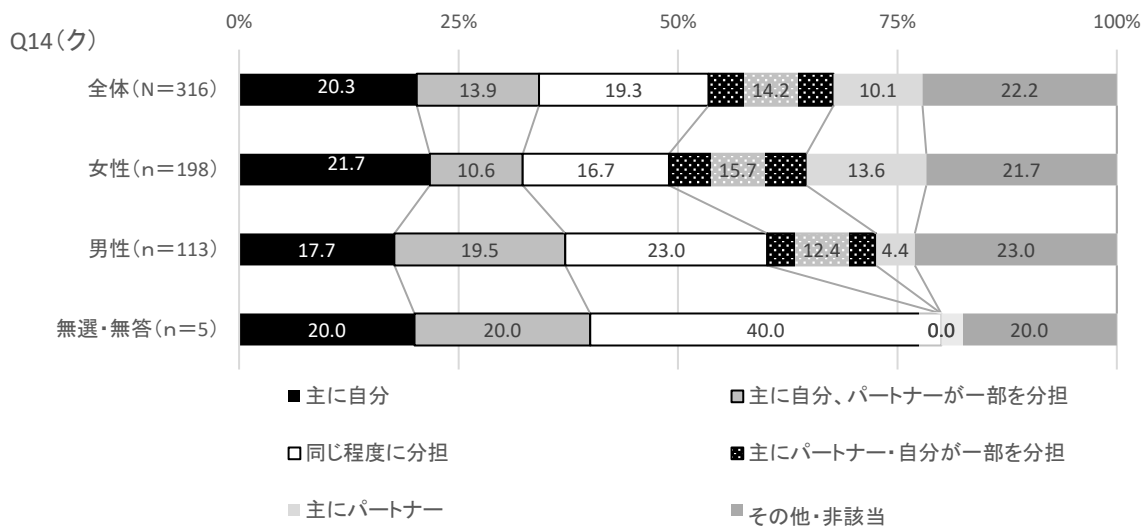
図表 31 家庭内の仕事分担（親の世話）



### (ク) 自治会・町内会などの地域活動

- ・全体では「その他・非該当」が最も多く 22.2%、ついで「主に自分」が 20.3%。
- ・性別で見ると、女性は『主にパートナー（主にパートナー+主にパートナー、自分が一部を分担）』が 29.3% と、男性を 12.5 ポイント上回る。

図表 32 家庭内の仕事分担（自治会・町内会などの地域活動）



## 12.暴力を受けた経験（配偶者・パートナーがいる方のみ）

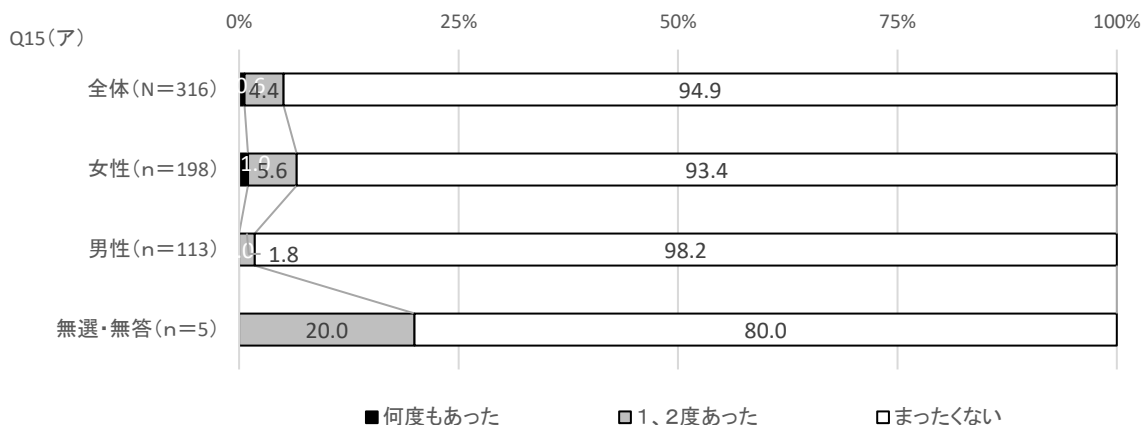
### （1）暴力を受けた経験

あなたは、この3年間に配偶者・パートナー（夫・妻・恋人）から次の（ア）～（エ）のような暴力を受けたことがありますか（最もあてはまるものを1つ）。

#### （ア）身体的暴力（なぐる、物を投げつけるなど）

- ・全体では「まったくない」が最も多く94.9%。
- ・性別で見ると、女性は『暴力があった（何度もあった+1、2度あった）』が6.6%、同じく男性は1.8%だった。

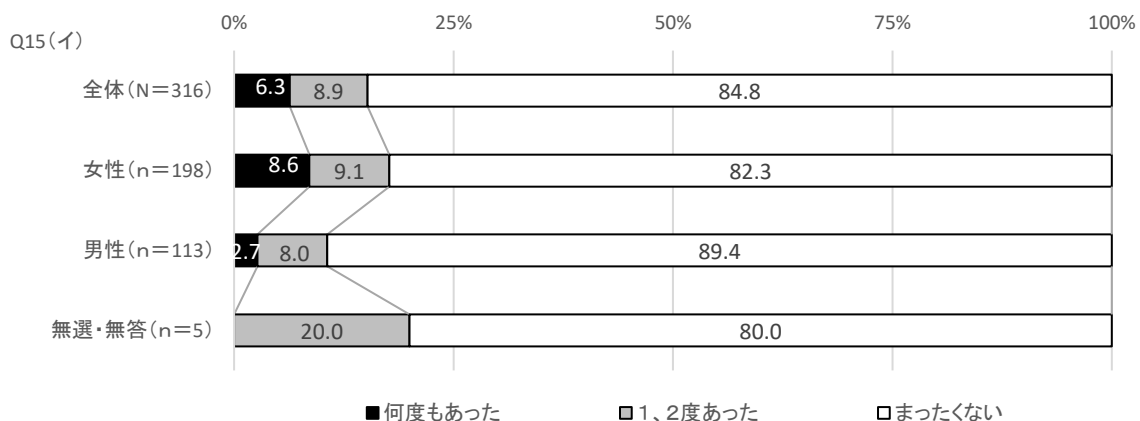
図表 33 暴力を受けた経験（身体的暴力）



#### （イ）心理的攻撃（無視などの精神的嫌がらせ、恐怖を感じるなど）

- ・全体では「まったくない」が最も多く84.8%。
- ・性別で見ると、女性は『暴力があった（何度もあった+1、2度あった）』が17.7%、同じく男性は10.7%だった。

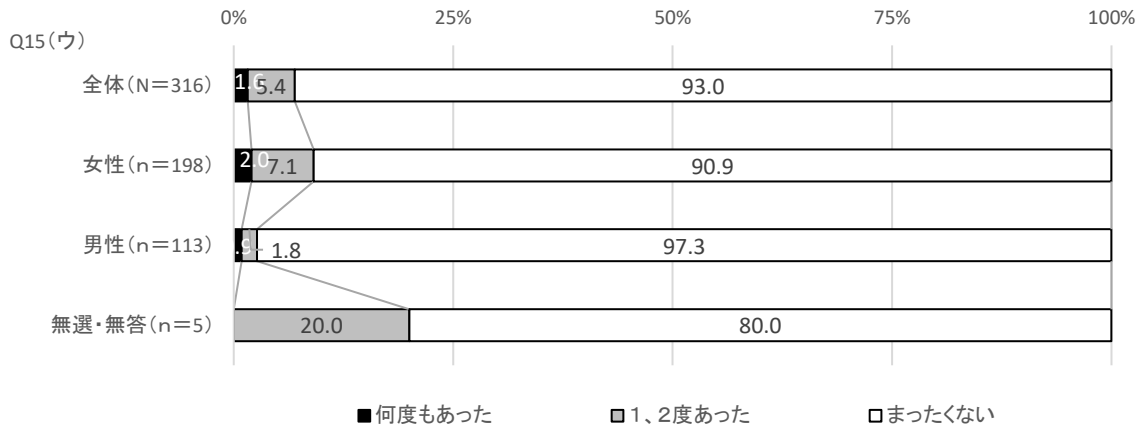
図表 34 暴力を受けた経験（心理的攻撃）



(ウ) 経済的圧迫（生活費を渡さない、あなたに借金させるなど）

- ・全体では「まったくない」が最も多く 93.0%。
- ・性別でみると、女性は『暴力があった（何度もあった＋1、2度あった）』が 9.1%、同じく男性は 2.7%だった。

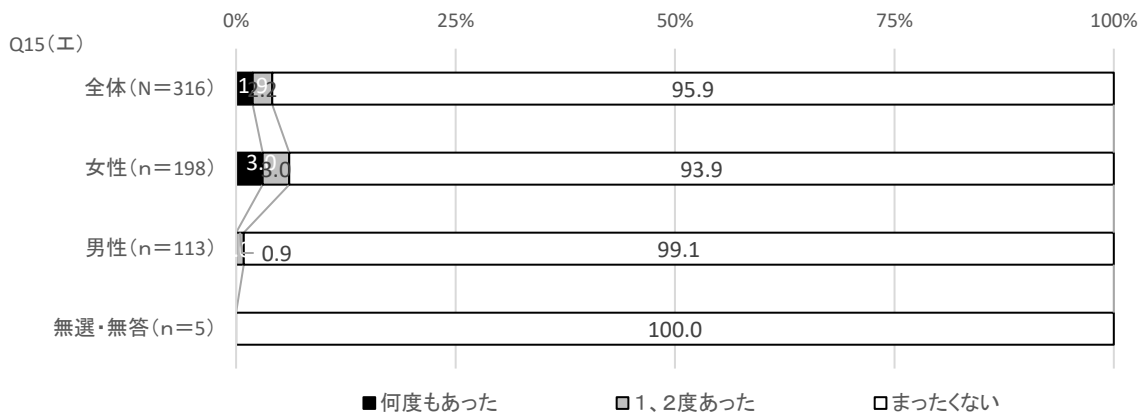
図表 35 暴力を受けた経験（経済的圧迫）



(エ) 性的強要（性的行為の強要、避妊に協力しないなど）

- ・全体では「まったくない」が最も多く 95.9%。
- ・性別でみると、女性は『暴力があった（何度もあった＋1、2度あった）』が 6.0%、同じく男性は 0.9%だった。

図表 36 暴力を受けた経験（性的強要）

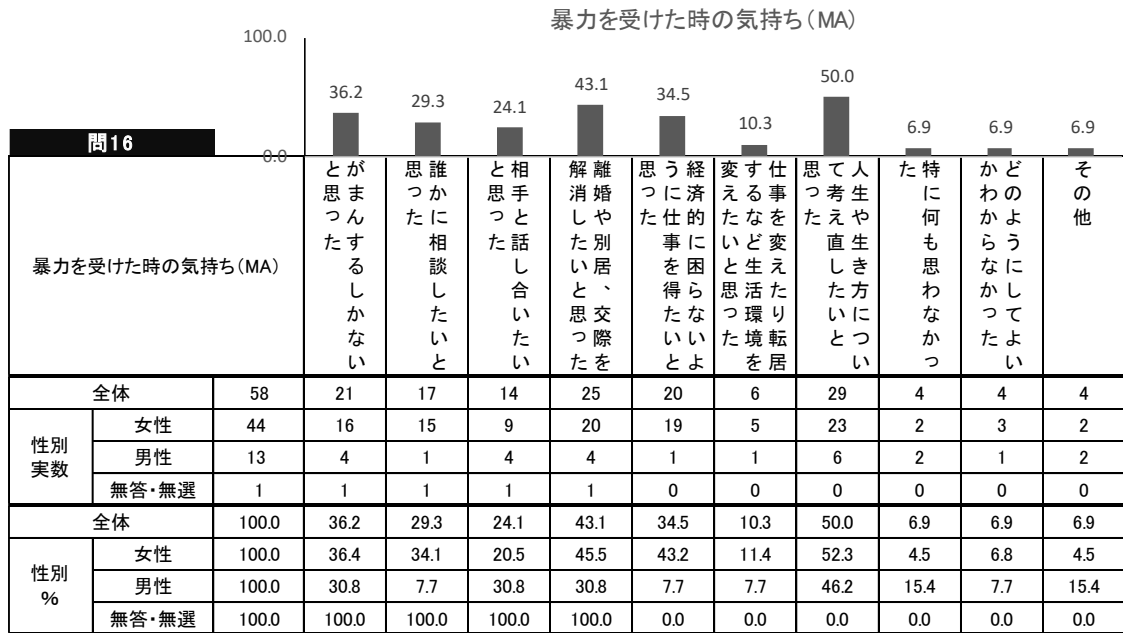


(2) 暴力を受けた時の気持ち (暴力を受けた経験がある方のみ)

暴力行為をされたとき、あなたはどのようにしたいと思いましたが (あてはまるものをすべて)。

- ・全体では「人生や生き方について考え直したいと思った」が最も多く 50.0%。
- ・性別で見ると、女性は「誰かに相談したいと思った」が 34.1%と、男性を 26.4 ポイント上回る。同様に、女性は「経済的に困らないように仕事を働きたいと思った」が 43.2%と、男性を 35.5 ポイント上回る。

図表 37 暴力を受けた時の気持ち

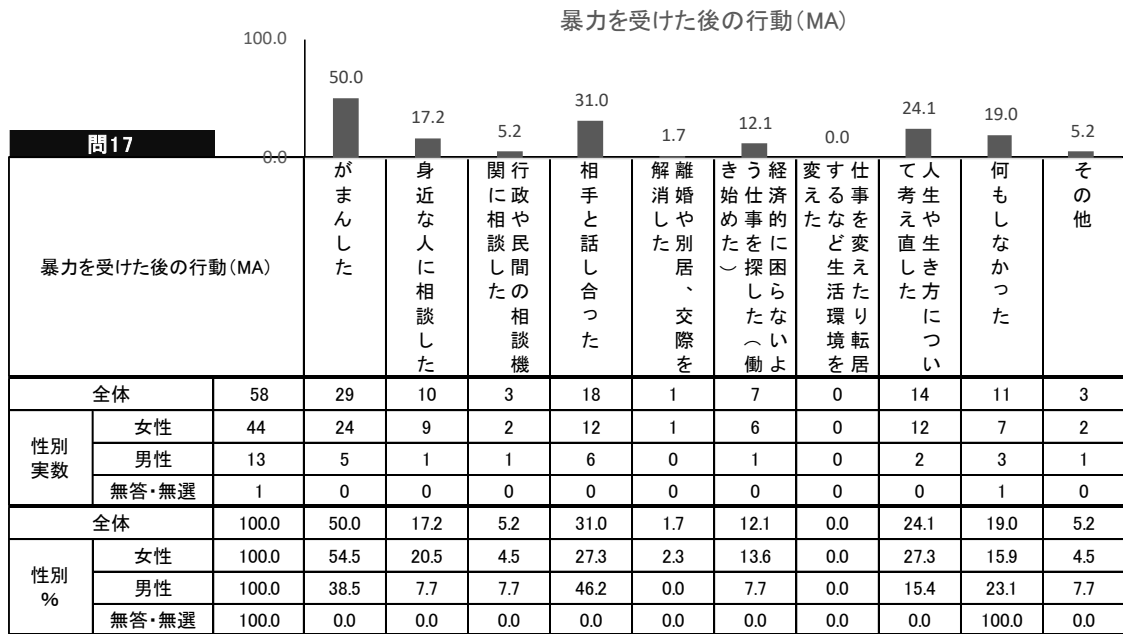


(3) 暴力を受けた後の行動

暴力行為をされたとき、実際には、どのように行動しましたか (あてはまるものをすべて)。

- ・全体では「がまんした」が最も多く 50.0%。
- ・性別で見ると、女性は「がまんした」が 54.5%と、男性を 16.0 ポイント上回る。同様に、男性は「相手と話し合った」が 46.2%と、女性を 18.9 ポイント上回る。

図表 38 暴力を受けた後の行動



(4) 暴力を受けた時の気持ちと実際の行動との比較

【解決に向けたアクションなし】

- ・「がまんするしかないと思った」を「がまんした」が13.8ポイント上回っている。
- ・「特に何も思わなかった」を「何もしなかった」が12.1ポイント上回っている

【解決に向けたポジティブアクション】

- ・「話し合いたい」を「話し合った」が6.9ポイント上回っている。

【解決に向けた行動できず】

- ・別居・自立などの環境を変える行動は望んでもできていない。

図表 39 暴力を受けた時の気持ちと実際の行動との比較

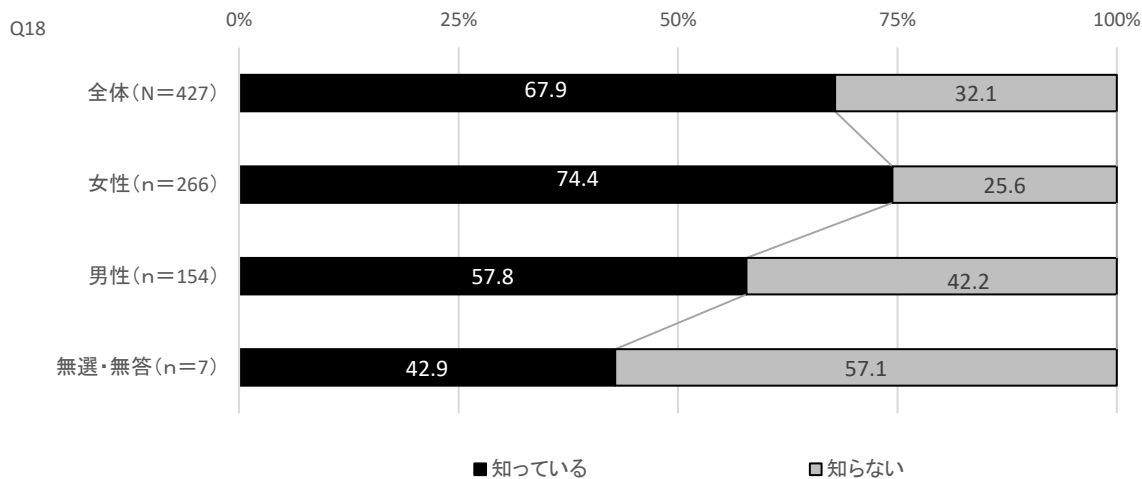
問16と問17の比較	気持ち		実際の行動		差		評価
	実数	%	実数	%	実数	%pt	
がまんする／がまんした	21	36.2	29	50.0	8	13.8	気持ち<行動
誰かに相談したい／相談した(合計)	17	29.3	13	22.4	-4	-6.9	行動できず
相手と話し合いたい／話し合った	14	24.1	18	31.0	4	6.9	気持ち<行動
離婚・別居・交際解消したい／した	25	43.1	1	1.7	-24	-41.4	行動できず
経済的自立のため仕事を得たい／得た	20	34.5	7	12.1	-13	-22.4	行動できず
生活環境を変えたい／変えた	6	10.3	0	0.0	-6	-10.3	行動できず
人生や生き方を考え直したい／考え直した	29	50.0	14	24.1	-15	-25.9	行動できず
特に何も思わなかった／何もしなかった	4	6.9	11	19.0	7	12.1	気持ち<行動

### 13.暴力について相談できる窓口の認知（全員の方）

あなたは、配偶者・パートナーからの暴力について相談できる窓口があることを知っていますか（1つだけ）。

- ・全体では「知っている」が最も多く67.9%。
- ・性別で見ると、女性は「知っている」が74.4%と、男性を16.6ポイント上回る。

図表 40 暴力について相談できる窓口の認知



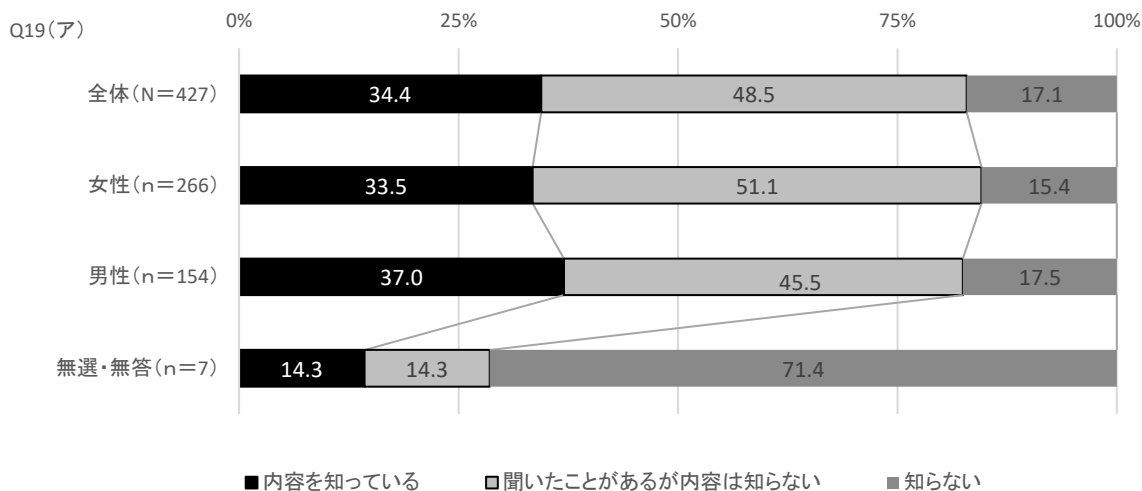
### 14.言葉や施策の認知状況

次の言葉や施策について、あなたはどの程度知っていますか（1つだけ）。

#### (ア) 男女共同参画社会

- ・全体では「聞いたことがあるが内容は知らない」が最も多く48.5%。

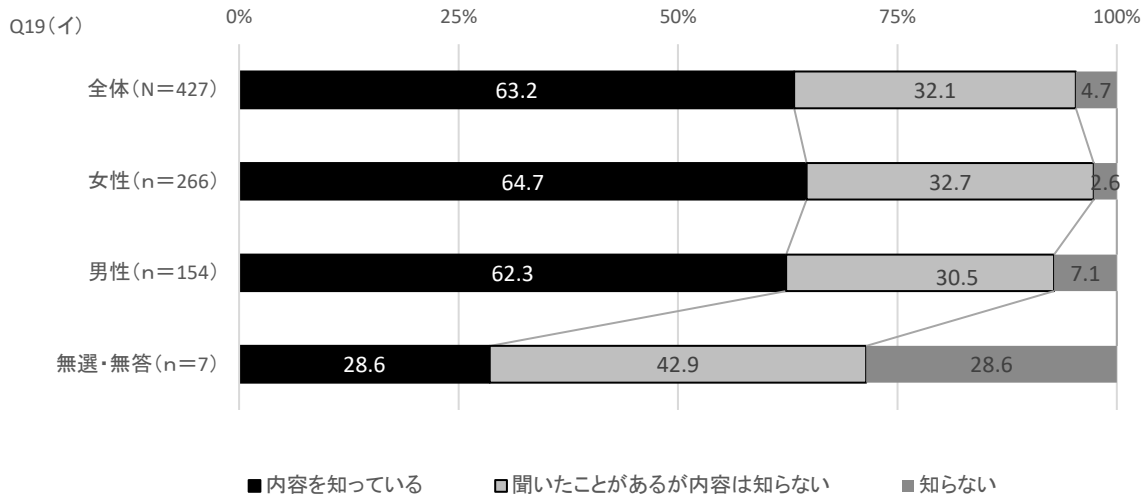
図表 41 男女共同参画社会の認知



(イ) ジェンダー平等

・全体では「内容を知っている」が最も多く 63.2%。

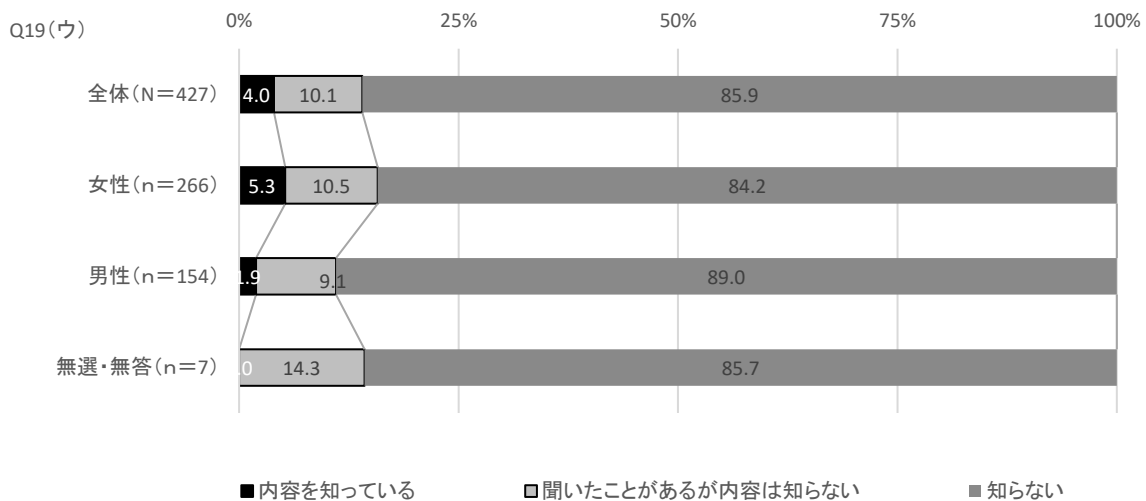
図表 42 ジェンダー平等の認知



(ウ) リプロダクティブヘルス・ライツ（性と生殖に関する健康と権利：自分の望むものを選んで決められること）

・全体では「知らない」が最も多く 85.9%。

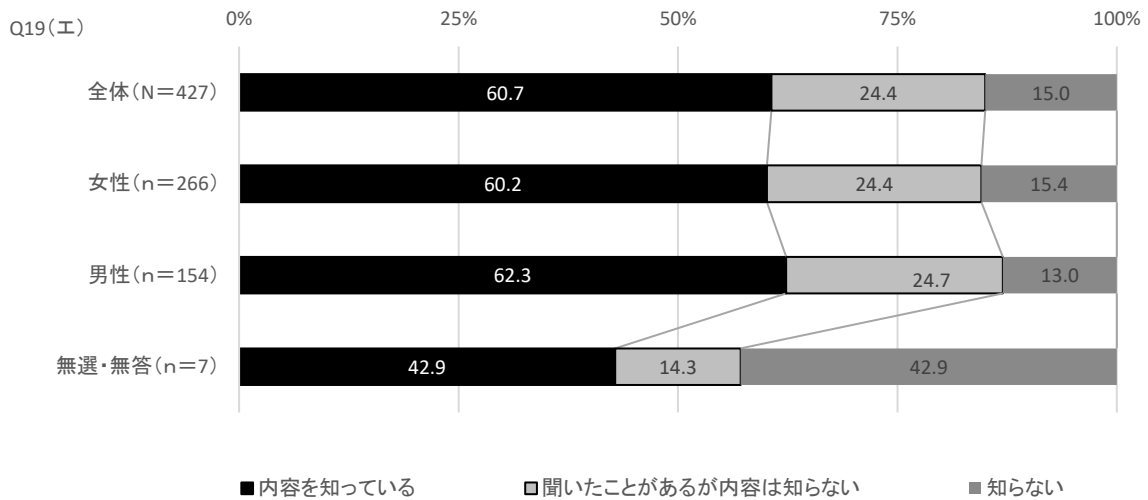
図表 43 リプロダクティブヘルス・ライツの認知



## (エ) ワーク・ライフ・バランス

・全体では「内容を知っている」が最も多く 60.7%。

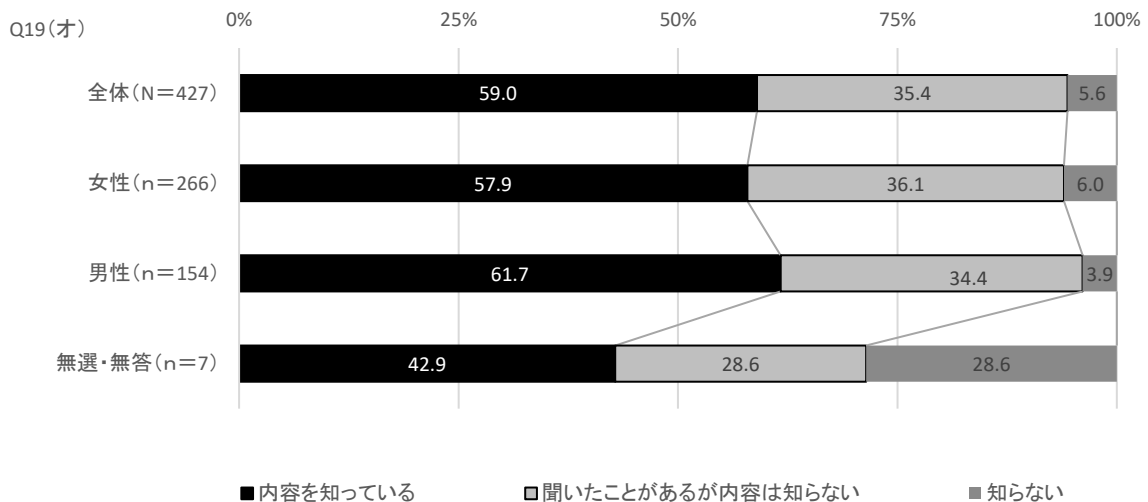
図表 44 ワーク・ライフ・バランスの認知



## (オ) DV防止法

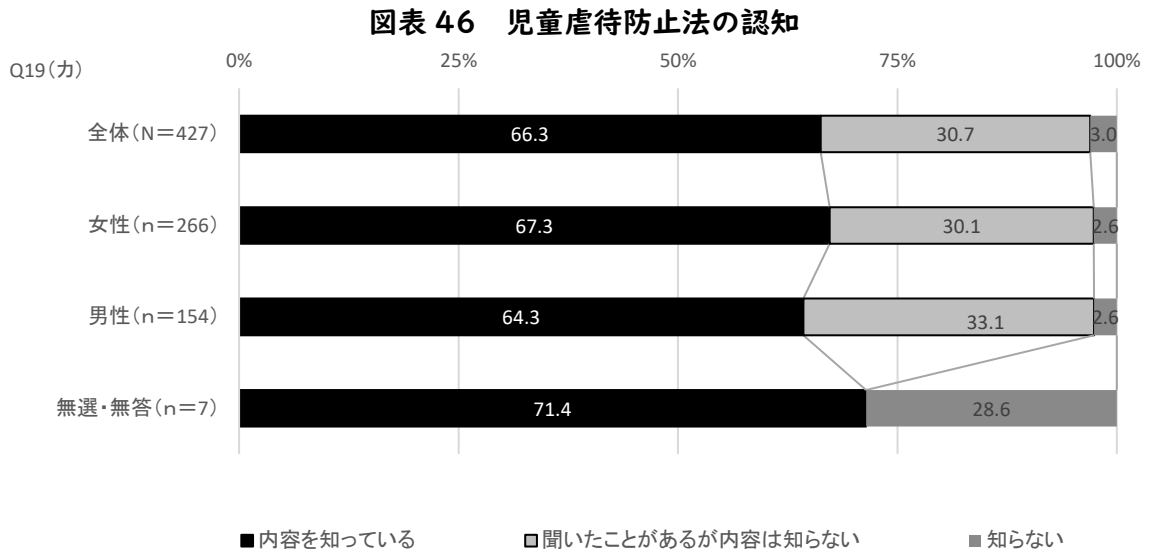
・全体では「内容を知っている」が最も多く 59.0%。

図表 45 DV防止法の認知



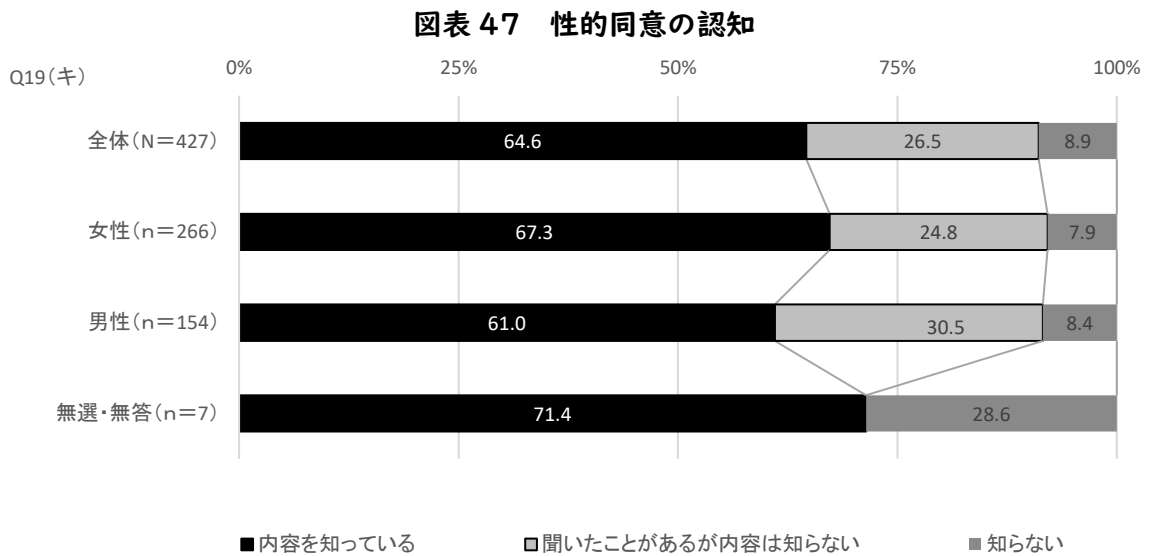
### (カ) 児童虐待防止法

・全体では「内容を知っている」が最も多く 66.3%。



### (キ) 性的同意

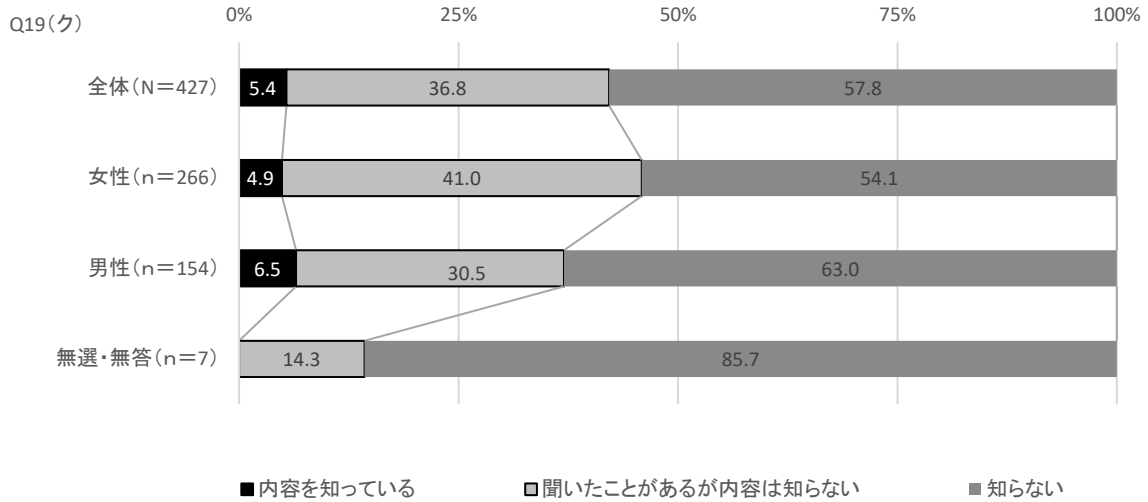
・全体では「内容を知っている」が最も多く 64.6%。



(ク) 福津市男女がともに歩むまちづくり基本条例

・全体では「知らない」が最も多く 57.8%。

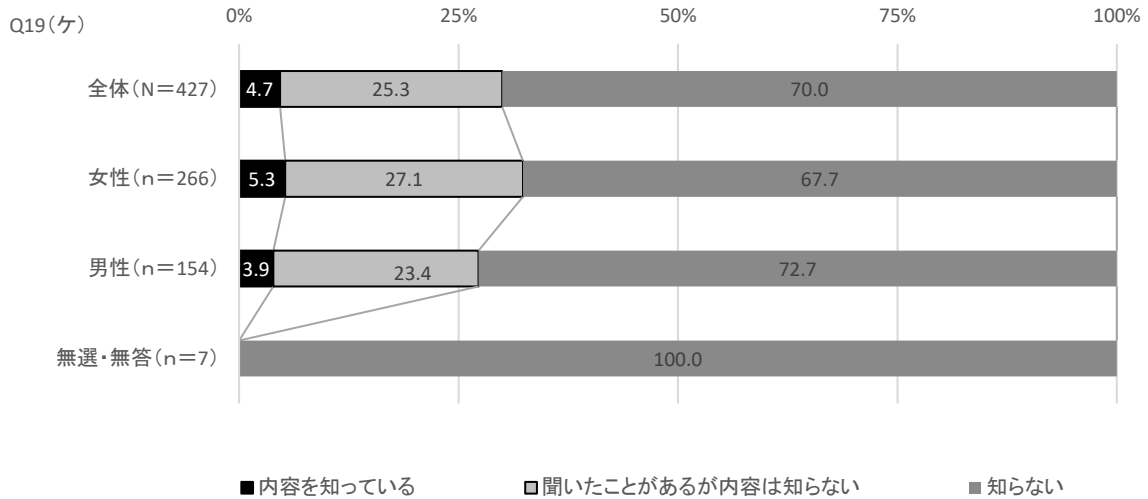
図表 48 福津市男女がともに歩むまちづくり基本条例の認知



(ケ) 福津市パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度

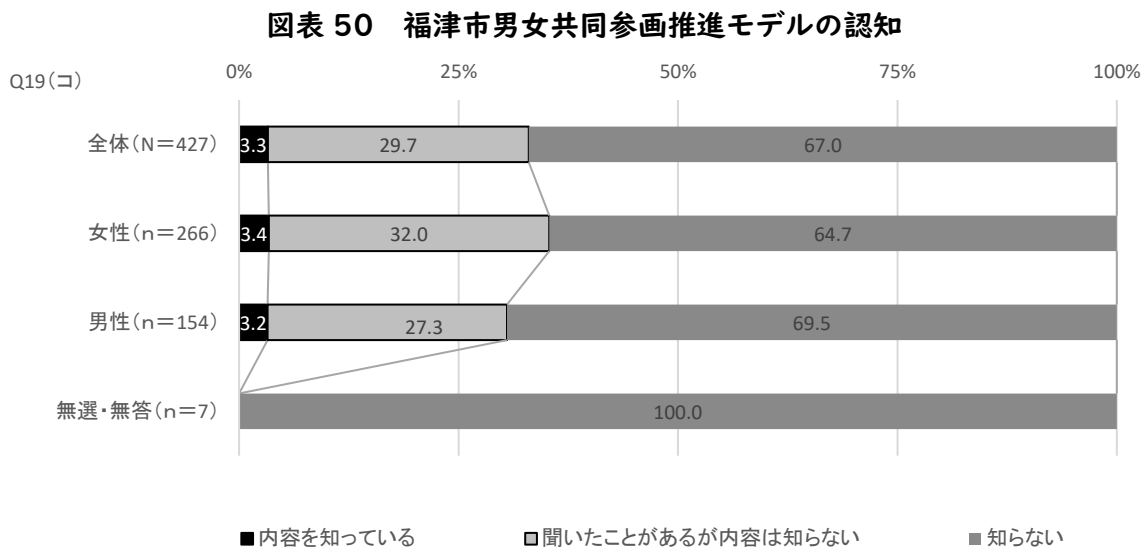
・全体では「知らない」が最も多く 70.0%。

図表 49 福津市パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度の認知



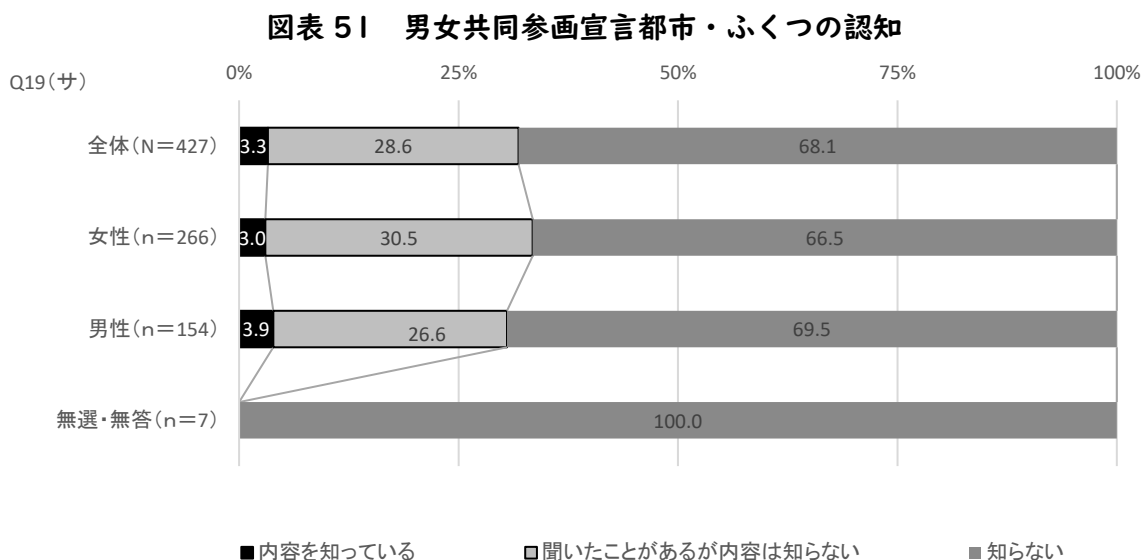
(コ) 福津市男女共同参画推進モデル

・全体では「知らない」が最も多く67.0%。



(サ) 男女共同参画宣言都市・ふくつ

・全体では「知らない」が最も多く68.1%。

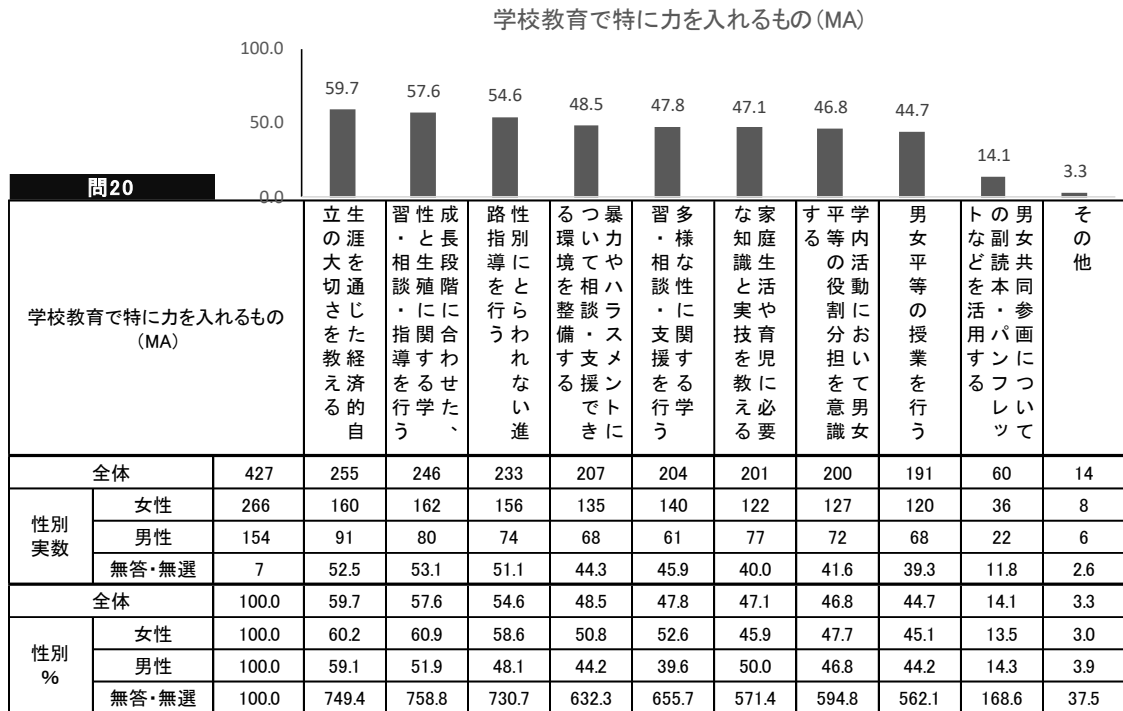


15. 学校教育（小・中・高等学校）のなかで、特に力を入れるべきもの

学校教育（小・中・高等学校）のなかで男女共同参画をすすめるための取り組みとして、特に力を入れるべきものは何だと思いますか（考えに近いものをすべて）。

- ・全体では「生涯を通じた経済的自立の大切さを教える」が最も多く59.7%、ついで「成長段階に合わせた、性と生殖に関する学習・相談・指導を行う」が57.6%。
- ・性別で見ると、女性は「多様な性に関する学習・相談・支援を行う」が52.6%と、男性を13.0ポイント上回る。

図表 52 学校教育で特に力を入れるもの

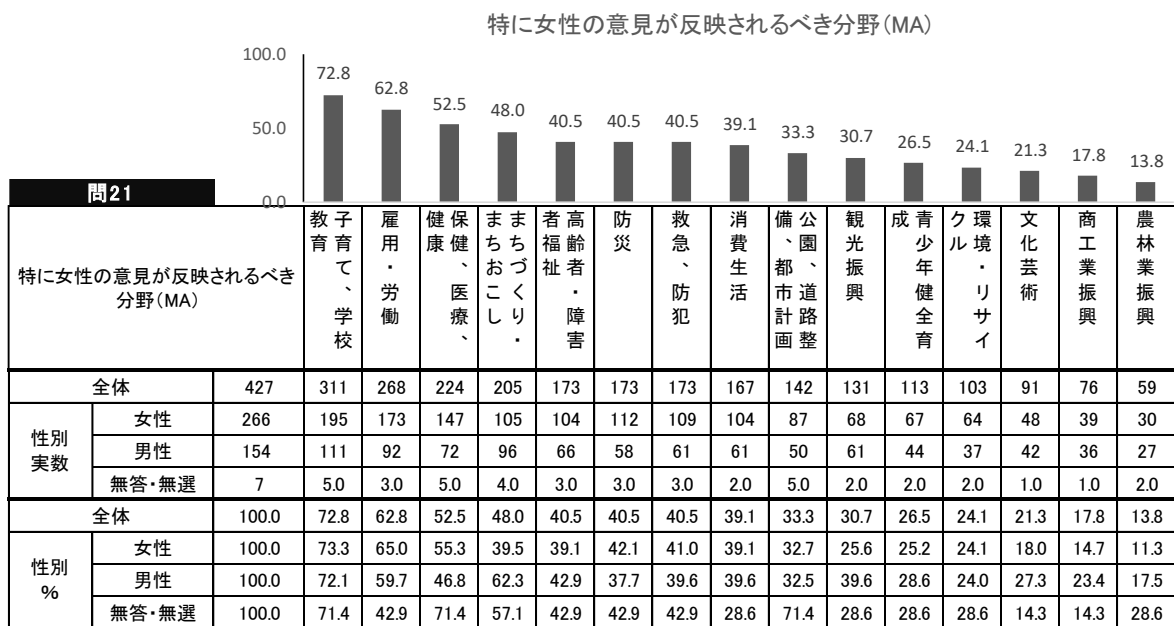


16.特に女性の意見が反映されるべき分野

行政や地域活動の各分野において、今後、特に女性の意見が反映されるべき分野は何だと思いま  
すか（考えに近いものをすべて）。

- ・全体では「子育て、学校教育」が最も多く 72.8%、ついで「雇用・労働」が 62.8%。
- ・性別でみると、男性は「まちづくり・まちおこし」が 62.3%と、女性を 22.8 ポイント上回  
る。同様に、男性は「観光振興」が 39.6%と、女性を 14.0 ポイント上回る。

図表 53 特に女性の意見が反映されるべき分野

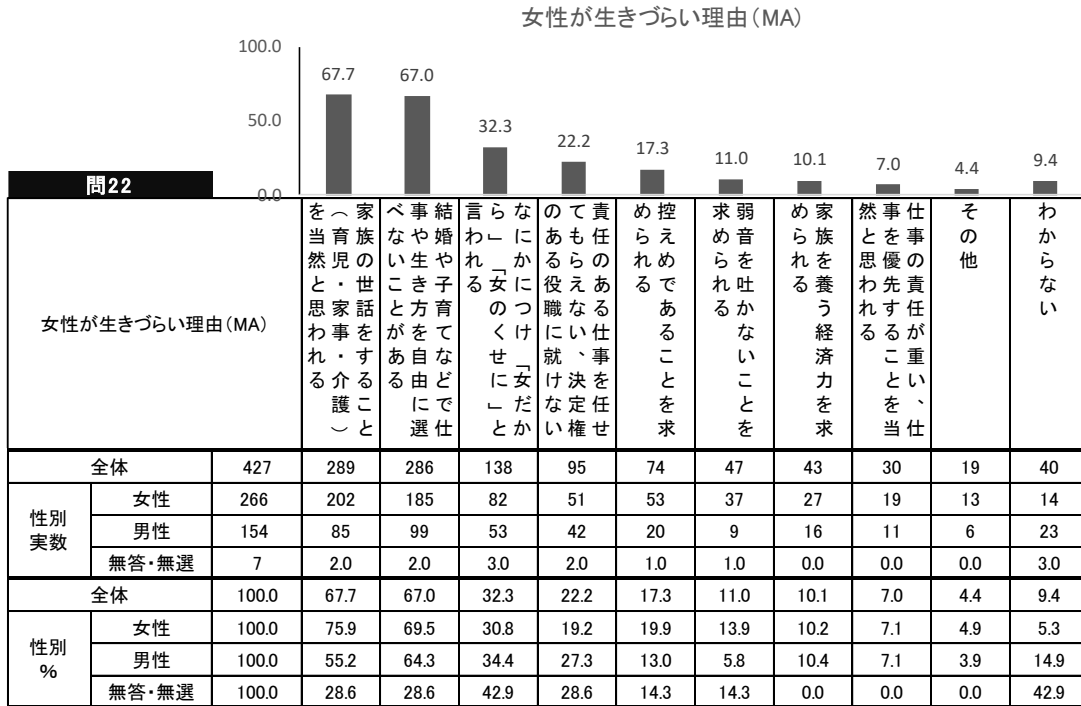


### 17.女性が生きづらさを感じる理由

女性が生きづらさを感じる理由は何だと思いますか（考えに近いものをすべて）。

- ・全体では「家族の世話をすること（育児・家事・介護）を当然と思われる」が最も多く67.7%、ついで「結婚や子育てなどで仕事や生き方を自由に選べないことがある」が67.0%。
- ・性別で見ると、女性は「家族の世話をすること（育児・家事・介護）を当然と思われる」が75.9%と、男性を20.7ポイント上回る。

図表 54 女性が生きづらさを感じる理由

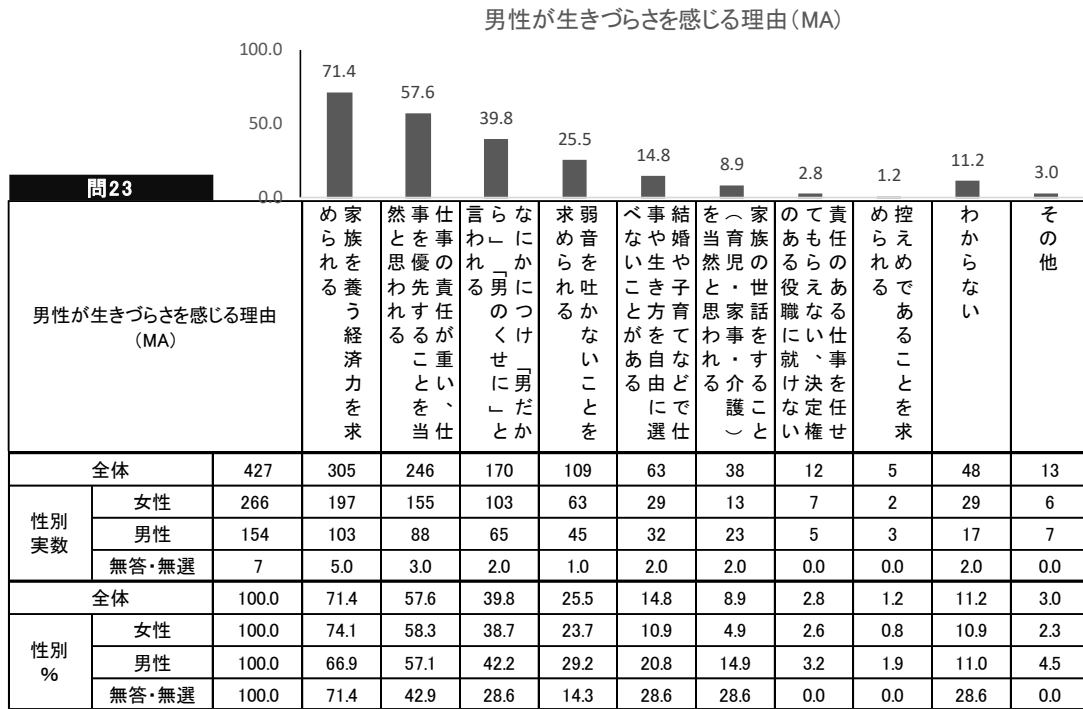


### 18.男性が生きづらさを感じる理由

男性が生きづらさを感じる理由は何だと思いますか（考えに近いものをすべて）。

- ・全体では「家族を養う経済力を求められる」が最も多く71.4%。
- ・性別で見ると、男性は「家族の世話をすること（育児・家事・介護）を当然と思われる」が14.9%と、女性を10.0ポイント上回る。

図表 55 男性が生きづらさを感じる理由



## 使用した調査票

### 男女がともに歩むまちづくりに向けたアンケート調査

#### ■ご協力をお願い■

市民の皆さまには、日ごろから市政にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

本市では、男女がともにその人権を尊重しつつ責任も分かち合い、個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会づくりに向けて、「男女がともに歩むまちづくり」を推進しているところです。

この調査は、市民の皆さまが生活の中で感じておられることをお聞かせいただき、今後のまちづくりに生かしていくために行うものです。皆様の日頃のお考えで、思いのままにお答えください。

調査対象者：2,000人（18歳以上64歳以下の男女を無作為抽出）

令和7年10月

福津市長 福井 崇郎

#### ご記入にあたって

1. お答えは、封筒のあて名の方がご本人のお考えでご記入ください。
  2. ご記入は黒のボールペンまたは濃い鉛筆でお願いいたします。
  3. 間違った場合は、二重線(=)で取り消してください。
  4. お答えいただく○印の数は、問によって「1つずつ」「1つだけ」「すべて」などあります。あてはまる番号を選んで○印をつけてください。  
また、「その他」を選ばれた場合には、その内容を( )内にご記入ください。
  5. 調査票、返信用封筒にはお名前を書いていただく必要はありません。  
お答えは、すべて無記名で統計的に処理しますので、個人が特定されることはなく、  
また、他の目的に使用することはありません。
- \* 回答時間：約10分程度
- \* 回答期限：10月17日(金)まで(同封の返信用封筒をご利用ください)

#### <お問い合わせ>

福津市 市民生活部 男女共同参画推進室

電話：0940-43-8116 FAX：0940-43-3168

E-mail：[danjo@city.fukutsu.lg.jp](mailto:danjo@city.fukutsu.lg.jp)

## 福津市での暮らしについておたずねします。

問1 あなたは、福津市に住み続けたいと思いますか。あてはまるものを一つだけ選んでください。

- 1 住み続けたい
- 2 どちらかといえば住み続けたい
- 3 どちらかといえば住み続けたくない
- 4 住み続けたくない

問2 あなたが福津市に住んでいる年数は、通算で何年になりますか。あてはまるものを一つだけ選んでください。

- |             |              |
|-------------|--------------|
| 1 1年未満      | 4 10年以上15年未満 |
| 2 1年以上5年未満  | 5 15年以上20年未満 |
| 3 5年以上10年未満 | 6 20年以上      |

問3 あなたは現在、自分らしく生活できていると思いますか。あてはまるものを一つだけ選んでください。

- 1 そう思う
- 2 どちらかといえばそう思う
- 3 どちらともいえない
- 4 どちらかといえばそう思わない
- 5 そう思わない

## 男女共同参画社会についておたずねします。

問4 あなたは、次にあげるような分野で、男女の地位は平等になっていると思いますか。(ア)～(ク)の各分野についてあなたの考えに最も近いものを一つずつ選んでください。

	優 女 性 の 方 が い る	優 女 性 の 方 か と い え ば い る	平 等 で あ る	優 男 性 の 方 が い る	優 男 性 の 方 が い る	わ か ら な い
(ア) 家庭生活では	1	2	3	4	5	6
(イ) 職場では	1	2	3	4	5	6
(ウ) 学校教育の場では	1	2	3	4	5	6
(エ) 地域（郷づくり）活動・社会活動の場では	1	2	3	4	5	6
(オ) 政治の場では	1	2	3	4	5	6
(カ) 法律や制度のうえでは	1	2	3	4	5	6
(キ) 社会通念・慣習・しきたりなどでは	1	2	3	4	5	6
(ク) 社会全体で見ると	1	2	3	4	5	6

問5 一般的に「女性が職業を持つ」ことについて、あなたはどうお考えですか。あなたの考えに最も近いものを一つだけ選んでください。

- 1 ずっと職業を持っている方がよい
- 2 結婚するまでは職業を持ち、あとは持たない方がよい
- 3 子どもができるまで職業を持ち、あとは持たない方がよい
- 4 子どもができたら職業を中断し、子どもに手がかからなくなって再び持つ方がよい
- 5 女性は職業を持たない方がよい
- 6 その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )

問6 現在の主な就業状況について、あなたにあてはまるものを一つだけ選んでください。

- 1 正社員・正職員
- 2 パートタイマー・アルバイト（学生アルバイト）
- 3 契約社員
- 4 派遣社員

5 自営業・会社経営

6 働いていない

問7 育児を行うために、法律に基づき育児休業・子の看護休暇を取得できる制度があります。あなたは、男性が、この制度を活用することについてどう思いますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。

1 男性も育児・子の看護休暇を積極的に取るべきである

2 男性も育児・子の看護休暇を取ることは賛成だが、現実的には取りづらいと思う

3 男性が育児休業・子の看護休暇を取る必要はない

4 わからない

5 その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )

問8 家族の介護を行うために、法律に基づき介護休業を取得できる制度があります。

あなたは、男性が、この制度を活用することについてどう思いますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。

1 男性も介護休業を積極的に取るべきである

2 男性も介護休業を取ることは賛成だが、現実的には取りづらいと思う

3 男性が介護休業を取る必要はない

4 わからない

5 その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )

問9 あなたは、現在、次にあげる団体が行う活動に参加していますか。参加しているものをすべて選んでください。

1 自治会、町内会の活動

2 郷づくり推進協議会の活動

3 子ども会、子ども会育成会の活動

4 婦人会の活動

5 シニアクラブ(老人クラブ)等の活動

6 PTAの活動

7 消防団の活動

8 どれも参加していない

9 その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )

**《問9で8以外を選択された方におたずねします》**

問10 現在参加している、あるいは今後参加する団体において、あなたが役職のトップに就くことを推薦されたり、指名されたりした場合、あなたは引き受けますか。

- 1 引き受ける
- 2 断る
- 3 わからない

問11 現在福津市では、自治会長、PTA会長などへの女性の就任状況は1割未満となっています。あなたは、地域における活動に女性のリーダーが少ない理由は何だと思えますか。あてはまるものをすべて選んでください。

- 1 家事や仕事で忙しいから
- 2 女性には向いていない（男性の方が適しているから）
- 3 これまでの慣習で、男性が就任してきたから
- 4 女性がリーダーになることに反発する雰囲気があるから
- 5 女性は責任のある役を引き受けたがらないから
- 6 男性中心の組織運営になっているから
- 7 家族の理解や協力が得られないから
- 8 わからない
- 9 その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )

問12 東日本大震災や熊本地震など、これまでの大規模災害時には、女性や子育て家庭ならではの問題や困難が多く生じています。あなたは、これらの問題や困難に備えるために、どのようなことが必要だと思えますか。あてはまるものをすべて選んでください。

- 1 避難所の運営、方針決定などにおいて、男女ともに参加できるようにすること
- 2 性別や家族構成に応じて備蓄すること
- 3 避難所で女性や子どもが安全に過ごすことができるようにすること
- 4 防災や災害現場で活動する女性のリーダーを育成すること
- 5 日頃から、家族や地域とのコミュニケーションを大切にすること
- 6 日頃からの男女平等、男女共同参画意識を高めること
- 7 わからない
- 8 その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )

問13 あなたは結婚（婚姻届を出していない「事実婚」を含む）していますか。

- 1 配偶者・パートナーはいない ⇒ 問18へ
- 2 配偶者・パートナーがいる（共働き）
- 3 配偶者・パートナーがいる（共働きではない）

《現在、配偶者・パートナーがいる方におたずねします》

問14 あなたのご家庭では、次にあげるような家庭内の仕事を、主にどなたがしていますか。(ア)～(ク)のそれぞれについて、最もあてはまるものを1つずつ選んでください。

	主に自分	主に自分、 パートナーが 一部を分担	担 同 じ 程 度 に 分	主 に パ ー ト ナ ー ・ 自 分 が 一 部 を 分 担	主 に パ ー ト	非 該 当 ・ そ の 他
(ア) 炊事、掃除、洗濯などの家事	1	2	3	4	5	6
(イ) 育児、子どものしつけ	1	2	3	4	5	6
(ウ) 子どもの教育方針や進学目標の決定	1	2	3	4	5	6
(エ) 日々の家計の管理	1	2	3	4	5	6
(オ) 高額商品や土地・家屋の購入の決定	1	2	3	4	5	6
(カ) 家計を支える（生活費を得る）	1	2	3	4	5	6
(キ) 親の世話（介護）	1	2	3	4	5	6
(ク) 自治会・町内会などの地域活動	1	2	3	4	5	6

問15 あなたは、この3年間に配偶者・パートナー（夫・妻・恋人）から次の（ア）～（エ）のような暴力を受けたことがありますか。（（ア）～（エ）のそれぞれについて、最もあてはまるものを1つずつ選んでください）

	あ 何 っ 度 た も	あ っ た 1、 2 度	な い ま っ た く
(ア) 身体的暴力（なぐる、物を投げつけるなど）	1	2	3
(イ) 心理的攻撃（無視などの精神的嫌がらせ、恐怖を感じるなど）	1	2	3
(ウ) 経済的圧迫（生活費を渡さない、あなたに借金させるなど）	1	2	3
(エ) 性的強要（性的行為の強要、避妊に協力しないなど）	1	2	3

《問15でひとつでも「1」「2」と回答した方におたずねします》

問16 問15の行為をされたとき、あなたはどのようにしたいと思いましたか。あてはまるものをすべて選んでください。

- 1 がまんするしかないと思った
- 2 誰かに相談したいと思った
- 3 相手と話し合いたいと思った
- 4 離婚や別居、交際を解消したいと思った
- 5 経済的に困らないように仕事を得たいと思った
- 6 仕事を変えたり、転居するなど生活環境を変えたいと思った
- 7 人生や生き方について考え直したいと思った
- 8 特に何も思わなかった
- 9 どのようにしてよいかわからなかった
- 10 その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )

《問15でひとつでも「1」「2」と回答した方におたずねします》

問17 問15の行為をされたとき、実際には、どのように行動しましたか。あてはまるものをすべて選んでください。

- 1 がまんした
- 2 身近な人に相談した
- 3 行政や民間の相談機関に相談した
- 4 相手と話し合った
- 5 離婚や別居、交際を解消した
- 6 経済的に困らないよう、仕事を探した（働き始めた）
- 7 仕事を変えたり、転居するなど生活環境を変えた
- 8 人生や生き方について考え直した
- 9 何もしなかった
- 10 その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )

問18 あなたは、配偶者・パートナーからの暴力について相談できる窓口があることを知っていますか。

- 1 知っている
- 2 知らない

問19 次の言葉や施策について、あなたはどの程度知っていますか。(ア)～(サ)のそれぞれの項目についてあてはまるものを1つずつ選んでください。

	内容を知っている	聞いたことがある が内容は知らない	知らない
(ア) 男女共同参画社会	1	2	3
(イ) ジェンダー平等	1	2	3
(ウ) リプロダクティブヘルス・ライツ ※	1	2	3
(エ) ワーク・ライフ・バランス	1	2	3
(オ) DV防止法	1	2	3
(カ) 児童虐待防止法	1	2	3
(キ) 性的同意	1	2	3
(ク) 福津市男女がともに歩むまちづくり基本条例	1	2	3
(ケ) 福津市パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度	1	2	3
(コ) 福津市男女共同参画推進モデル	1	2	3
(サ) 男女共同参画宣言都市・ふくつ	1	2	3

※性と生殖に関する健康と権利：自分の望むものを選んで決められること

問20 学校教育（小・中・高等学校）のなかで男女共同参画をすすめるための取り組みとして、特に力を入れるべきものは何だと思いませんか。あなたの考えに近いものをすべて選んでください。

- 1 男女平等の授業を行う
- 2 学内活動において男女平等の役割分担を意識する
- 3 男女共同参画についての副読本・パンフレットなどを活用する
- 4 多様な性に関する学習・相談・支援を行う
- 5 成長段階に合わせた、性と生殖に関する学習・相談・指導を行う
- 6 生涯を通じた経済的自立の大切さを教える
- 7 家庭生活や育児に必要な知識と実技を教える
- 8 性別にとらわれない進路指導を行う
- 9 暴力やハラスメントについて相談・支援できる環境を整備する
- 10 その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )

問2 1 行政や地域活動の各分野において、今後、特に女性の意見が反映されるべき分野は何だと思えますか。あなたの考えに近いものをすべて選んでください。

- |               |                 |
|---------------|-----------------|
| 1 まちづくり・まちおこし | 9 防災            |
| 2 農林業振興       | 10 救急、防犯        |
| 3 商工業振興       | 11 公園、道路整備、都市計画 |
| 4 観光振興        | 12 青少年健全育成      |
| 5 文化芸術        | 13 子育て、学校教育     |
| 6 雇用・労働       | 14 消費生活         |
| 7 高齢者・障害者福祉   | 15 環境・リサイクル     |
| 8 保健、医療、健康    |                 |

問2 2 女性が生きづらさを感じる理由は何だと思えますか。あなたの考えに近いものをすべて選んでください。\*

- 1 なにかにつけ「女だから」「女のくせに」と言われる
- 2 結婚や子育てなどで仕事や生き方を自由に選べないことがある
- 3 家族の世話をすること（育児・家事・介護）を当然と思われる
- 4 家族を養う経済力を求められる
- 5 仕事の責任が重い、仕事を優先することを当然と思われる
- 6 責任のある仕事を任せてもらえない、決定権のある役職に就けない
- 7 控えめであることを求められる
- 8 弱音を吐かないことを求められる
- 9 わからない
- 10 その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )

問2 3 男性が生きづらさを感じる理由は何だと思えますか。あなたの考えに近いものをすべて選んでください。

- 1 なにかにつけ「男だから」「男のくせに」と言われる
- 2 結婚や子育てなどで仕事や生き方を自由に選べないことがある
- 3 家族の世話をすること（育児・家事・介護）を当然と思われる
- 4 家族を養う経済力を求められる
- 5 仕事の責任が重い、仕事を優先することを当然と思われる
- 6 責任のある仕事を任せてもらえない、決定権のある役職に就けない
- 7 控えめであることを求められる
- 8 弱音を吐かないことを求められる
- 9 わからない
- 10 その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )

あなたご自身のことやご家族のことについておたずねします。

F 1 あなたにあてはまるものをお知らせください。

- 1 女性      2 男性      3 答えたくない・選べない

F 2 あなたの年齢をお知らせください

(            ) 歳

F 3 あなたの世帯の状況についてお知らせください。

- 1 単身 (同居人はいない)      4 親と子と孫の三世代  
2 夫婦・パートナーのみ      5 その他  
3 親と子の二世帯

F 4 あなた自身も含め、同居のご家族に次にあげる方はいますか。あてはまるものをすべて選んでください。

- |              |                   |
|--------------|-------------------|
| 1 乳幼児 (3歳未満) | 5 高校生             |
| 2 未就学児       | 6 専門学校・短大・大学・大学院生 |
| 3 小学生        | 7 65歳以上の人         |
| 4 中学生        | 8 1～7以外の人         |

お忙しいところ、ご協力ありがとうございました。

ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて、  
10月17日（金）までに投函してください。



男女がともに歩むまち・ふくつ